

10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T対応 NAS RAID

N-RAID_{series}

User's Manual

ご注意

- 1) 本製品と本書は、ヤノ電器株式会社の著作物です。当社の著作物の一部または全部を、当社に無断で複製し、複写し、転載し、改変することは、法律で禁止されています。
- 2) 本製品と本書は、改良のために内容を予告せずに、変更する場合がありますのでご了承ください。
- 3) 本製品は、法律で定める戦略物資等輸出規制製品に該当する場合がありますので、本製品の輸出あるいは国外への持ち出しにはご注意ください。
- 4) 本製品は、日本国内でご利用いただくように設計、製作されています。国外でのご使用に関しては、当社は責任を負いかねます。国外へのサポート、アフターサービスはいたしかねますので、あらかじめご了承ください。
- 5) 本製品を使用して、作成し、保存したデータが、ハードウェアの故障、誤動作あるいは他の理由によって破壊された場合には、当社は理由の如何にかかわらず保証いたしかねます。ご必要なデータはあらかじめバックアップされることをお奨めいたします。
- 6) 本製品もバックアップし、ご自分で保有される場合に限り、一部のみ複写することができます。
- 7) 本製品のソースコードをお客様に開示し、ご使用を許諾することはありません。本ソフトウェア製品の解析、逆アセンブル、逆コンパイル、またはリバースエンジニアリングを禁止しております。
- 8) 本書に記載のない、あるいは本書に記載された内容と異なる操作によって生じた、どのような事故、損害に関しても、当社では責任を負いかねます。
- 9) 本製品は、医療など人命にかかわる機器、航空機、原子力、輸送など高い信頼性や安全性を必要とする設備や機器としての使用、あるいはこれらの機器や設備に組み込んで使用されることは考慮しておりません。このようなご利用によって生じた、どのような事故、損害に関しても、当社では責任を負いかねます。
- 10) 本製品および本書の内容について、ご不審な点や、お気付きの点がございましたら、当社カスタマサポートまでご一報くださいますようお願い申し上げます。

10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T 対応 NAS RAID 装置



N-RAID ユーザーズマニュアル

はじめに

このたびは、弊社製 NAS RAID 装置 **N-RAID** をお買い上げいただきありがとうございます。**N-RAID** は、これ 1 台でファイル共有を行うことができる NAS (Network Attached Storage) システムです。



このマニュアルを読んで N-RAID の設定を行ってください。なお、このマニュアルでは、一部を除き「**N-RAID**」のことを「本製品」または「サーバー」と記述しています。Mac OS および Mac OS X を搭載したコンピュータを総称して「Macintosh」、Windows を搭載したコンピュータを総称して「Windows」と記述しています。また、Web ブラウザから呼び出してお使いいただける本製品の管理ソフトのことを「YFS Controller Pro」と記述しています。このマニュアルに記載されている画面上の表示等は、お使いのコンピュータのシステムの設定やバージョンによって、見え方が異なる場合があります。

マニュアルの本文中の記号について






	操作上、非常に大切なことを説明しています。注意事項を守らないと、重大なトラブルが発生し、データが失われることがあります。
	操作にあたって気にとめていただきたいことを説明しています。操作の参考にしてください。

安全にお使いいただくために

ケガや故障、火災などを防ぐために、ここで説明している注意事項を、必ずお読みください。

 警告	この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などによる死亡や大ケガなど人身事故の原因となります。
 注意	この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりケガをしたり、他の危機に損害を与えたりすることがあります。

警告

-  本製品の取り付け、取り外しの時は、必ずコンピュータ本体の注意事項に従ってください。
-  本製品の分解、改造、修理をご自分で行わないでください。火災や感電、故障の原因になります。また、故障時の保証の対象外となります。
-  本製品に付属の電源ケーブル以外は使用しないでください。火災や感電、故障の原因になります。
-  本製品やコンピュータ本体から煙が出たり異臭がした時は、直ちに電源を切り、ACコンセントから電源プラグを抜いてください。そのあと、ご購入店などにご連絡ください。そのまま使用すると、火災や感電、故障の原因となります。
-  本製品やコンピュータ本体に、水などの液体や異物が入った時は、直ちに電源を切り、ACコンセントから電源プラグを抜いてください。そのあと、ご購入店などにご連絡ください。そのまま使用すると、火災や感電、故障の原因となります。



水を使う場所や湿気の多いところで、本製品やコンピュータ本体を使用しないでください。
火災や感電、故障の原因になります。



注 意



本製品の取り付け、取り外しの時は、慎重に作業を行ってください。
強引な着脱は、機器の故障や、ケガの原因になります。



本製品やコンピュータ本体を次のようなところで使用しないでください。

- ・ 不安定な場所
- ・ ホコリの多い場所
- ・ 振動のある場所
- ・ 直射日光の当たる場所
- ・ 高温 / 多湿な場所
- ・ 衝撃のある場所
- ・ 強い磁気の発生する場所



長期間、本製品やコンピュータ本体を使用しない時は、電源プラグを抜いておいてください。

目次

Chapter 1 準備

1. 本製品の概要について	8
・パッケージの内容を確認しましょう	8
・動作環境について	8
・本製品の特長	9
・本製品の機能について	11
2. お使いになる前に	12
3. 各部の名称とはたらき	14

Chapter 2 使ってみましょう

1. 作業を始める前に	18
・本製品の使い方	18
・本製品の電源を入れる前に	18
Step 1 サーバを起動する	19
・本製品に電源を入れる	19
・IPアドレスを確認する	20
・IPアドレスを設定する	20
・ネットマスクを設定する	21
Step 2 ネットワークを設定する	23
・Mac OS 8.6 ~ 9.2.2 でお使いの場合	23
・Mac OS X 10.1 ~ でお使いの場合	24
・Windows 95 / 98 / Me でお使いの場合	25
・Windows NT4.0 でお使いの場合	28
・Windows 2000 / XP でお使いの場合	29
Step 3 クイック設定を行う	31
・ボリュームを作成し直す	35
Step 4 ユーザ設定と共有設定を行う	39

Step 5 サーバに接続する	43
・ Mac OS 7.6 ~ 9.2.2 の場合	43
・ Mac OS X 10.1 ~ の場合	44
・ Windows の場合	46
2. サーバを終了する	48

Chapter 3 YFS Controller Proで設定する

1. YFS Controller Pro で設定する	50
・ YFS Controller Pro を起動する	50
2. システム設定	51
・ ボリューム	51
・ ネットワーク	52
・ サーバー名	53
・ 使用言語	54
・ 日付&時刻	55
3. ユーザー設定	56
・ ユーザー	56
・ グループ	59
・ クォータ	62
4. 共有設定	63
・ フォルダ	63
・ アクセス権	66
・ Macintosh	70
・ Windows	71
・ UNIX	72

5. サーバー管理	73
・ステータス	73
・障害通知	76
・SNMP	78
・パスワード	79
・設定ファイル	80
・ファームウェア	82
・無停電電源装置 (UPS)	83
・ログアウト	84
・シャットダウン	84

Chapter 4 日常の運用と障害の発生

1. 日常の運用について	86
・日常および障害時のご注意	86
・障害の発生に備えて	86
2. 障害が発生した時は	87
・障害が発生した時の状態	87
・アラームの解除方法	88
3. ドライブホルダーの交換と復旧作業	89
・スペアディスクの再設定	91

Chapter 5 付 録

1. こんな時には	94
2. サポートとサービスのご案内	96
・カスタマサポートのご案内	96
・オンライン情報提供サービスのご案内	96

Chapter

1

準備

Chapter 1では、本製品を使用する前に、知っておいていただきたいことを説明しています。

パッケージの内容を確認しましょう

本製品のパッケージには、下記のものが入っています。お使いになる前に、必ず内容をご確認ください。不足品や破損品などがありましたら、すぐにお買い上げの販売店または弊社カスタマサポートへご連絡ください。● P96「サポートとサービスのご案内」

- ・ N-RAID 本体 1 台
- ・ 交換用スペアドライブ 1 台
スペアドライブ付きモデルのみ（スペアドライブが含まれないモデルには付属しません）
- ・ 電源ケーブル 1 本
- ・ ネットワークケーブル 1 本
- ・ キー 2 本
- ・ ユーザーズマニュアル（このマニュアルです）..... 1 冊
- ・ 保証書、ユーザー登録カード 各 1 部

動作環境について

■ クライアント環境（ユーザ）

ファイル共有等のサービスを利用するクライアントです。

Macintosh	Mac OS 7.6 1 ~ 9.2.2 / Mac OS X 10.1 以降
Windows	Windows 95 / 98 / 98 SE / Me / NT 4.0(SP3 以降) / 2000 / XP

1 Open Transport 1.1 ~ が必要です。

クライアント環境のコンピュータは、ネットワークポートを装備している必要があります。

■ クライアント環境（管理者）

Web ブラウザによりサービスを設定します。

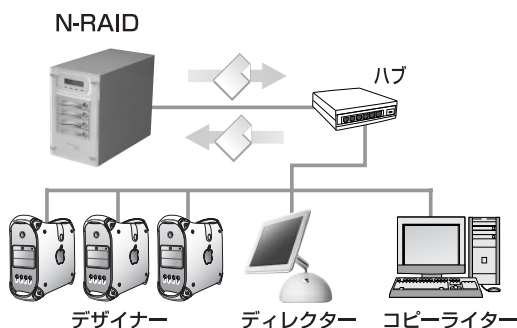
Macintosh	<ul style="list-style-type: none"> ・ 対応 OS : Mac OS 8.6 ~ 9.2.2 / Mac OS X 10.1 以降 ・ Web ブラウザ : Internet Explorer 5.0 以降 Netscape 4.7 以降 Safari 1.0 以降
Windows	<ul style="list-style-type: none"> ・ 対応 OS : Windows 95 / 98 / 98 SE / Me / NT 4.0(SP3 以降) / 2000 / XP ・ Web ブラウザ : Internet Explorer 5.0.1 以降 Netscape 4.7.3 以降

Java Script と Cookie を使用しています。Java Script を利用できる設定にてご使用ください。

本製品の特長

●部門・部署、SOHOなどのネットワーク環境の共有ストレージとしてLANに接続し簡単な設定を行えば、NAS (Network Attached Storage) がこれ1台で実現します。

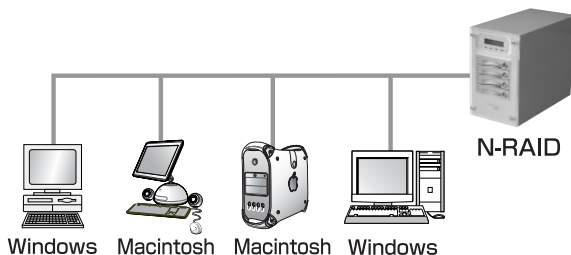
各種データの保存や共有、一元管理やバックアップなどの用途にお使いいただけます。また、MacintoshとWindowsの両方からアクセス可能で、さらにNFS(Network File System) を介してUNIXなどの混在している環境でもスムーズにデータ交換を行えます。本製品には、4台のハードドライブが装備されており、シングルドライブ構成やRAID構成など、用途に応じた形態で使用することができます。



●MacintoshとWindowsが混在した環境でのファイル共有が可能

MacintoshとWindowsが混在した環境でも、機種やOSの違いによるトラブルやファイル名の文字化けなどの問題なく、各種データの保存や共有、一元管理やバックアップ等に使用できます。

OS固有の制限がありますのでご注意ください。詳しくはP12をご覧ください。



●最新のネットワークプロトコルを採用

Macintoshのファイル共有プロトコルAFP (Apple Filing Protocol) 3.1に対応しています。Mac OS X 10.2.x などAFP3.xに対応したクライアントから2GBを超えるファイルを取り扱うことができます。

Windowsのファイル共有はCIFS/SMB3.0に対応しています。Windows 2000 / 2003サーバのドメインレベルセキュリティにも対応します。

●無停止で障害ドライブを復旧できるホットスワップ対応&オートリビルド機能搭載

障害発生時でも本体の電源を停止することなく故障したドライブの交換ができるホットスワップに対応。また、ドライブの交換後、自動的にデータの再構築を行うオートリビルド機能を搭載しています。複雑な設定を行うことなくドライブを交換することができます。

●障害発生時の自動復旧機能ホットスタンバイ対応

予備のドライブを待機(スタンバイ)させ、障害発生時には自動で待機中のドライブへデータを再構築するホットスタンバイに対応。RAID 5と組み合わせれば安全性がいっそう高まるため、ノンストップ運用に最適です。

●クライアントマシンのWebブラウザから簡単にサーバー管理が可能

サーバー管理はクライアントマシン (Macintosh / Windows のどちらも可) の Web ブラウザから簡単に行えます。設定は簡単で、必要に応じて細かな設定も可能です。

本製品の機能について

本製品には以下の機能が搭載されています。

●ファイル共有機能

AFP (Macintoshの共有機能) と NetBIOS (Windowsの共有機能)、NFS (Network File System) に対応。ネットワークを介して共有フォルダにファイルを保管し、Macintosh (Mac OS 7.6 ~ 9.2.2 / X 10.1 ~) や Windows (Windows 95 / 98 / Me / NT4.0 / 2000 / XP)、UNIX など異機種が混在した環境でもファイルを共有することができます。

●アクセス管理機能

共有フォルダ毎にアクセス権を設定することができます。設定できるアクセス権は、そのフォルダへのアクセスを許可するユーザとグループ、そして許可するアクセスレベル (読み出し / 書き込み) です。

●簡単設定機能

Web ブラウザを使って簡単に設定できる管理ソフト「YFS Controller Pro」を搭載。サーバに必要な全ての設定をWebブラウザより行うことができます。DHCPクライアントにも対応していますので、ネットワーク内にDHCPサーバがあれば自動的にネットワーク設定を行います。

DHCPサーバがない場合にはIPアドレスが設定されませんので、N-RAID本体の操作パネルからIPアドレスの設定を行う必要があります。

●UPSによる停電監視機能

UPS (無停電電源装置) と本製品をシリアルケーブル (RS-232C) で接続すれば、停電検出を行うことが可能です。停電時には自動的にシャットダウンしますので、落雷などで突然の停電が起ってもデータやハードウェアの損傷を防ぐことができます。本製品は、APC社製 Smart-UPS シリーズと Back-UPS ES 500 に対応しています。

2 お使いになる前に

ご使用になる時の注意事項

本製品をご使用になる場合は、下記の点に注意してください。

ファイル名およびフォルダ名として使用する文字の制限について

本製品を使用する場合、クライアントOSによってファイル名やフォルダ名に制限があります。ここでは、OSごとの制限について説明します。

Windows の場合

ファイル名やフォルダ名に「¥/:;*?"<>|」を含む文字列を設定することはできません。

Macintosh の場合

本製品では、タイプフェイスが定義されていない文字コードを含むファイル名やフォルダ名は、使用することができません。Mac OS 9 以前では、このような文字を含むファイルやフォルダを作成することができますが、そのファイルやフォルダを本製品の共有フォルダにコピーするとエラーが発生しますのでご注意ください。

Windows で設定できない文字を含んだファイル名やフォルダ名を Macintosh 側から本製品に書き込むと、Windows ではファイルアクセスの問題を回避するために文字列を変換して表示します。しかしこの状態は、同じファイルの名称がそれぞれのOS間で異なるという状況になりますので注意が必要です。

RAID 構成について

本製品で構成できる RAID レベルは以下のとおりです。

- ・ RAID レベル ... RAID 0 / 1 / 3 / 5 / シングルディスク (RAID なし)

本製品は、出荷時に 4 台のドライブで「RAID 5」を構成し、1 つのボリュームを作成しています。

設定を変更したい場合は、P35「ボリュームを作成し直す」を参照してください。

アクセス権の設定について

ファイル共有のアクセス権は「YFS Controller Pro」で作成できる第1階層のフォルダにのみ設定ができます。第1階層のフォルダに含まれるサブフォルダにはアクセス権の設定はできません。

ファイルサイズについて

単一で 2GB を超えるファイルは、AFP3.0 以降に準拠したクライアントのみが取り扱うことができます。

セキュリティについて

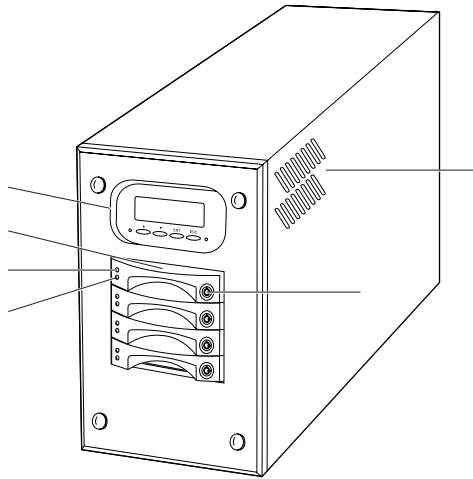
本製品では、HTTP (80)、AFPoverTCP (518,548)、NBTC (137 ~ 139,445) の各サーバーサービスを提供しています。また、ユーザ認証はIDとパスワードによって行います。内部や外部からの不正アクセスで被害を受けないよう、ファイアウォールやブロードバンドルータを別途ご用意のうえ、安全を確保し、パスワードも厳重に管理するなどセキュリティには十分注意を払ってください。

()内はポート番号

スリープ機能について

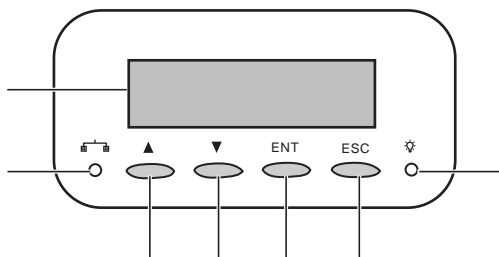
クライアントにMacintoshをお使いの場合、サーバに接続している状態でスリープすると、一定時間で強制的に接続を解除します。Macintoshのスリープ機能を解除するか、スリープする前に共有を解除(アンマウント)するようにしてください。

■ 前面



操作パネル	本製品の設定を行います。液晶表示パネル、LED表示とボタンで構成されています。詳しくは、次ページを参照してください。
ドライブトレイ	ハードディスクが取り付けられています。
ハードディスク電源ランプ(緑/赤)	ハードディスクの動作状況を示します。 ・緑色：ハードディスクに通電中 ・赤色：ハードディスクの故障
ハードディスクステータスランプ(黄)	ハードディスクの動作状況を示します。 ・黄色：ハードディスクにアクセス中
通気口	空気が通ります。ふさがないようにしてください。
カギ穴	ドライブトレイをロックするためのカギ穴です。

■ 操作パネル



液晶表示パネル	サーバとして起動が完了すると、上段に「製品名」が、下段には「設定されている 5つのパラメータ」が表示されます。 パラメータは、「サーバ名」「CPU温度」「CPUファンの速度」「現在の日時」「IPアドレス」の5つで、2秒ごとに表示が切り替わります。
ネットワークステータスランプ	本製品のネットワークポートにネットワークケーブルが接続されている時に橙色に点灯します。
(上向き三角)ボタン (下向き三角)ボタン	操作パネルで本製品の設定を行う場合は、ボタンおよびボタンで設定項目を選択します。
ENTボタン	選択した値を確定する時にこのボタンを押します。
ESCボタン	前のメニューに戻る時にこのボタンを押します。
電源ランプ	本製品に電源が投入されると緑色に点灯します。

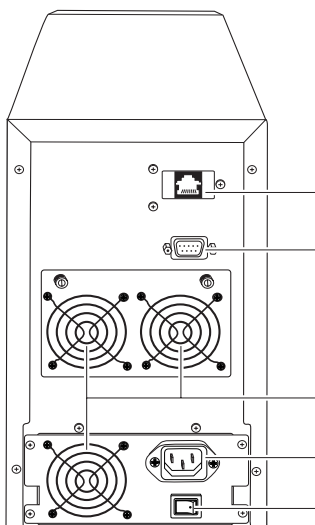


注意

操作パネルで行う設定はすべて、クライアントマシンのWebブラウザから「YFS Controller Pro」によって設定することができます。クライアントマシンから接続する際に、ネットワーク関連の設定を操作パネルで行う必要があります。

操作パネルでのネットワーク関連の設定手順は、P20を参照してください。

■ 背面



ネットワークポート	ネットワークケーブルを接続します。ギガビットイーサネットに対応しています。
UPSポート	UPS(無停電電源装置)を接続するためのポートです。
冷却用ファン	冷却用のファンが取り付けられています。この部分をふさがないように注意してください。
電源コネクタ	本製品に付属の電源ケーブルを接続します。
電源スイッチ	このスイッチは、シーソー式の押し戻しタイプです。本製品の電源を ON/OFF する時は、スイッチを押ししてすぐに離してください。



サーバの異常時などで、電源スイッチを押しても電源が切れない場合は、電源スイッチを押し込んだまま数秒間待つと、電源は強制的に切れます。強制的に電源を切った場合、本製品は異常終了したと認識し、次の起動時に復旧動作(リビルド)を行うことがありますのでご注意ください。

Chapter

2

使ってみましょう

Chapter 2では本製品の基本的な使用方法を Step で説明しています。お使いのOSやサーバの設定によって作業順序が異なります。お使いの設定の内容により、作業を進めてください。

本製品の使い方

手順は次ページからの Step の順番です。Step の内容は以下のとおりです。

Step 1	サーバーを起動する	P19
Step 2	ネットワークを設定する	P23
Step 3	クイック設定を行う	P31
Step 4	ユーザー設定と共有設定を行う	P39
Step 5	サーバに接続する	P43

本製品は、ネットワーク環境（DHCP サーバの有無）により設定の手順が異なります。お使いの環境に合わせて作業を進めてください。

DHCPサーバがある場合 ... Step1, Step3～5

DHCPサーバがない場合 ... Step1～5

本製品の電源を入れる前に

本製品を梱包箱より取り出したら、まず外見に破損などがないか確認してください。輸送中の振動でドライブトレイのコネクタが接触不良等を起こしている恐れがあります。接触不良等からの故障を予防するために、初めて電源を入れる前には、必ず、以下の手順でドライブトレイの再装着を行ってください。

ドライブトレイの再装着

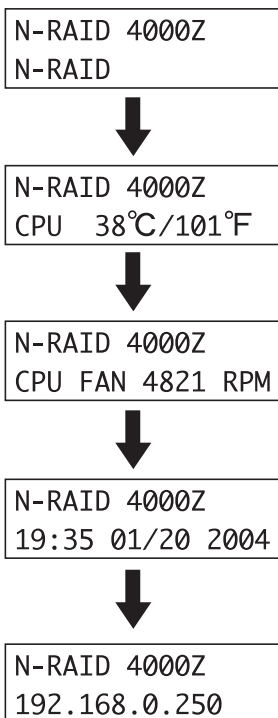
この操作は、本製品に初めて電源を投入する前（ケーブル類を接続する前）に行ってください。

- 1 本製品に付属のキーを使用し、本体正面のすべてのドライブトレイのロックを解除します。
- 2 4つのドライブトレイを引き出し、その後しっかりと装着し直してください。
- 3 装着し直したことを確認し、キーを使ってすべてのドライブトレイをロックします。

本製品に電源を入れる

本製品とハブを接続し、サーバを起動します。

- 1** 本製品のネットワークポートとハブの間を、付属のイーサネットケーブルで接続します。
本製品に電源ケーブルを接続し、電源ケーブルのプラグをACコンセントにしっかりと差し込みます。
- 2** 本製品の電源スイッチをONにします。
- 3** 起動が完了すると、本製品の液晶表示パネルに以下のパラメータが表示されます。
液晶表示パネルの上段には「製品名」が、下部には「サーバ名」→「CPU温度」→「CPUファンの速度」→「現在の日時」→「IPアドレス」を約2秒間隔でくり返し表示します。



図の表示は例です。

IPアドレスを確認する

本製品はネットワーク内のDHCPサーバを検索し、IPアドレスを割り当て、液晶表示パネルにIPアドレスを表示します。

DHCPサーバが存在しない場合や、DHCPサーバからIPアドレスの取得に失敗した場合などには、IPアドレスは設定されず、液晶表示パネルにも表示されません。この場合には、次項の「IPアドレスを設定する」の手順に従って、IPアドレスを設定する必要があります。

- 設定されたIPアドレスを、本製品の液晶表示パネルで確認します。

```
N-RAID 4000Z
192.168.0.250
```

図の表示は例です。

DHCPサーバがある場合 ...Step 3に進んでください。

DHCPサーバがない場合 ...本製品のIPアドレスとネットマスクを設定します。
以下の手順で行ってください。

IPアドレスを設定する

操作パネルでIPアドレスを設定します。

1 Enter Passwd
0

操作パネルの「ENT」ボタンを押します。
パスワードを聞いてきますので、管理者パスワードを入力します。最後まで入力できたら「ESC」ボタンを押します。

- ・パスワードの初期設定は「00000000」（数字の0が8個）です。
文字は「**<**」ボタン「**>**」ボタンで変更します。
1文字の入力が終わったら「ENT」ボタンで次の文字に移動します。

2 Main Menu
1Network

「Main Menu 1Network」と表示されていることを確認し、「ENT」ボタンを押します。

3 1Network
11Channel 0

「1Network 11Channel 0」と表示されていることを確認し、「ENT」ボタンを押します。

- 4** 11Channel 0
111CH0 Status
- 「11Channel 0 111CH0 Status」と表示されていることを確認し、ENT ボタンを押します。
- 5** 111CH0 Status
ON CONNECTED
- 「111CH0 Status ON CONNECTED」と表示されていることを確認し、「▼」ボタンを1回押します。
- 6** 112CH0 IP ADDR
Not Available
- 下段に、設定されている IP アドレスまたは Not Available が表示されていることを確認し、「ENT」ボタンを押します。
- 7** Set CH0 IP
192.168.0.250
- IP アドレスの入力を行います。
文字は「▲」「▼」ボタンによって変更します。
1文字目の入力ができたら、「ENT」ボタンで次の文字に移動します。最後の文字を入力し、「ENT」ボタンを押すと設定が完了します。

設定が完了すると、本製品は自動的に再起動します。

ネットマスクを設定する

操作パネルでネットマスクを設定します。

- 1** Enter Passwd
0
- 操作パネルの「ENT」ボタンを押します。
パスワードを聞いてきますので、管理者パスワードを入力します。最後まで入力できたら「ESC」ボタンを押します。
- パスワードの初期設定は「00000000」（数字の0が8個）です。
文字は「 」 「 」 ボタンで変更します。
1文字の入力が終わったら「ENT」ボタンで次の文字に移動します。
- 2** Main Menu
1Network
- 「Main Menu 1Network」と表示されていることを確認し、「ENT」ボタンを押します。
- 3** 1Network
11Channel 0
- 「1Network 11Channel 0」と表示されていることを確認し、「ENT」ボタンを押します。

- 4** 11Channel 0
111CH0 Status 「11Channel 0 111CH0 Status」と表示されていることを確認し、「ENT」ボタンを押します。
- 5** 111CH0 Status
ON CONNECTED 「111CH0 Status ON CONNECTED」と表示されていることを確認し、「▼」ボタンを2回押します。
- 6** 113CH0 Netmask
255.255.255.000 下段に表示されるネットマスクの設定値が、接続するネットワークに適合しているかを確認します。適合していれば設定の必要がないので、「ESC」ボタンを数回押して設定を終了します。変更する場合は、「ENT」ボタンを押します。
- 7** Set CH0 Netmask
255.255.255.000 ネットマスクの入力を行います。文字は「▲」「▼」ボタンによって変更します。1文字目の入力ができたら「ENT」ボタンで次の文字に移動します。最後の文字を入力し、「ENT」ボタンを押します。
- 8** Set CH0 Netmask
Continue? Y N ← 「▼」ボタンを1回押し、矢印を「Y」に移動させ「ENT」ボタンを押すと、設定が完了します。

■ 設定が完了すると、本製品は自動的に再起動します。

Step 2 ネットワークを設定する

クライアント（管理者）のネットワーク設定を変更します。
お使いになる OS に合わせて設定を行ってください。

DHCPサーバがある場合 ...Step 3 に進んでください。

DHCPサーバがない場合 ...サーバの IP アドレスは設定されません。本製品の IP アドレスを液晶表示パネルで確認してください。IP アドレスが表示されない場合は、P19「Step 1 サーバを起動する」を参照し、サーバのネットワーク設定を完了させてください。

DHCPサーバがない場合

ここでの説明は、ネットワーク設定が以下のようにサーバに行われていることを前提とします。

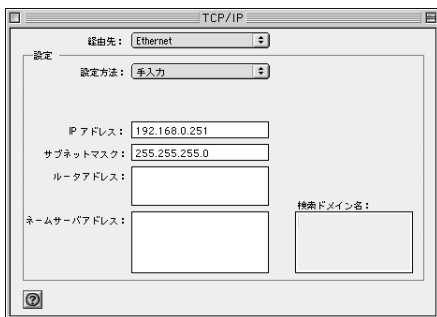
- ・サーバのネットワーク設定
IP アドレス：192.168.0.250
サブネットマスク：255.255.255.0
- ・クライアントのネットワーク設定
IP アドレス：192.168.0.251
サブネットマスク：255.255.255.0

Mac OS 8.6 ~ 9.2.2 でお使いの場合

Mac OS 8.6 ~ 9.2.2 でお使いの場合の TCP/IP の設定を行います。以下の手順に従ってください。

1 【アップルメニュー】 → 【コントロールパネル】 → 【TCP/IP】 を開きます。

2 経由先に【Ethernet】、設定方法に【手入力】を選択し、IP アドレスとサブネットマスクを下図のように入力します。

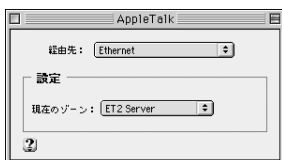


図の数値は入力例です。
この情報はネットワーク管理者より入手してください。

3 設定が終了したら、クローズボックスをクリックします。設定を保存するメッセージが表示されますので【保存】をクリックします。

4 AppleTalk の設定を確認します。

【アップルメニュー】→【コントロールパネル】→【AppleTalk】を開き、経由先に【Ethernet】を選びます。



5 クローズボックスをクリックします。有効になっていない場合は、設定を保存するメッセージが表示されますので【保存】をクリックします。

Mac OS X 10.1 ~でお使いの場合

Mac OS X 10.1 ~でお使いの場合のTCP/IPの設定を行います。以下の手順に従ってください。

1 【アップルメニュー】→【システム環境設定】→【ネットワーク】を開き、「TCP/IP」タブをクリックします。

2 IPアドレスの設定を行います。表示は【内蔵Ethernet】、設定は【手入力】を選択し、IPアドレスとサブネットマスクは下図のように入力します。



図の数値は入力例です。
この情報はネットワーク管理者
より入手してください。

- 3** 「AppleTalk」タブをクリックし、「AppleTalk 使用」にチェックを入れます。

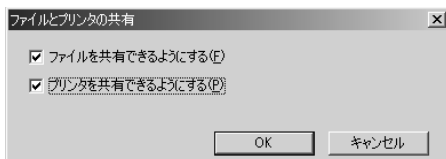


- 4** 設定が終了したら、【今すぐ適用】をクリックします。

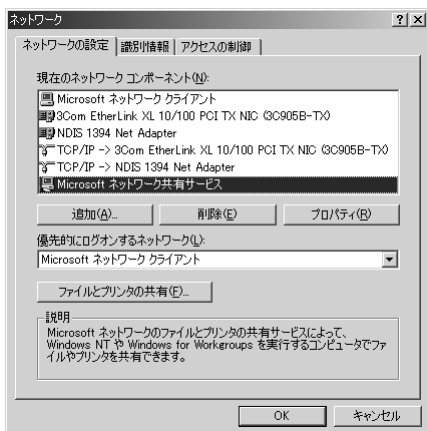
Windows 95 / 98 / Me でお使いの場合

Windows 95 / 98 / Me でお使いの場合の TCP/IP の設定を行います。以下の手順に従ってください。

- 1** システムを起動し、【スタート】→【設定】→【コントロールパネル】→【ネットワーク】を開きます。
- 2** 「ネットワーク設定」タブの【ファイルとプリンタの共有...】をクリックすると【ファイルとプリンタの共有】ダイアログが現れます。「ファイルを共有できるようにする」と「プリンタを共有できるようにする」にチェックを入れ、【OK】をクリックします。



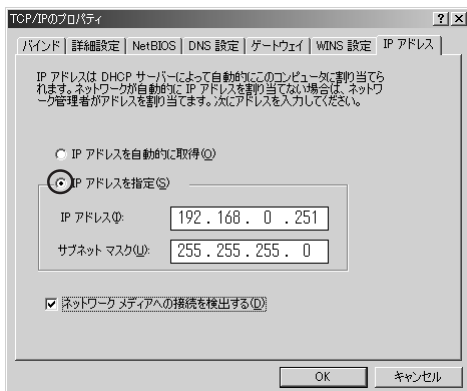
- 3** 「ネットワーク設定」タブの【現在のネットワークコンポーネント】に【Microsoft ネットワーク共有サービス】が追加されていることを確認します。



- 4** 「ネットワーク設定」タブの【現在のネットワークコンポーネント】で【TCP/IP->xxxxxx】を選択し、【プロパティ】をクリックします。

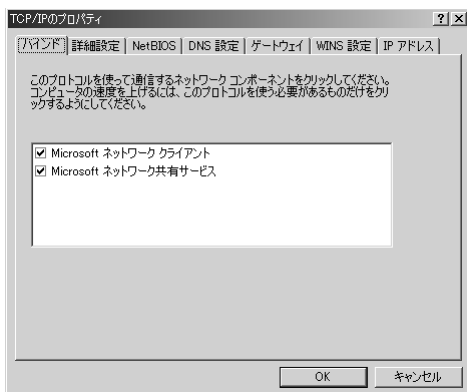


- 5** 【TCP/IPのプロパティ】が表示されます。「IP アドレス」タブを選択します。「IP アドレスを指定」を選択し、IP アドレスとサブネットマスクをそれぞれ入力して【OK】をクリックします。



図の数値は入力例です。
この情報はネットワーク管理者
より入手してください。

- 6** 「バインド」タブを選択し、「Microsoft ネットワーククライアント」と「Microsoft ネットワーク共有サービス」にチェックを入れ、【OK】をクリックします。



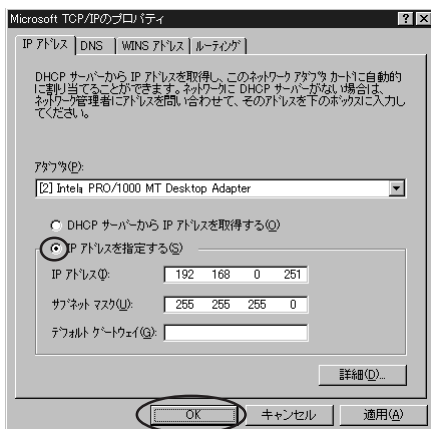
Windows NT4.0 でお使い場合

Windows NT 4.0 でお使いの場合の TCP/IP の設定を行います。以下の手順に従ってください。

- 1 システムを起動し、Administrator 権限でログインします。
【スタート】 → 【設定】 → 【コントロールパネル】 → 【ネットワーク】を開きます。
- 2 「プロトコル」タブを選択し、【TCP/IP プロトコル】を選んで【プロパティ】をクリックします。



- 3 【Microsoft TCP/IP のプロパティ】が表示されます。「IP アドレス」タブをクリックします。「IP アドレスを指定する」を選択し、IP アドレスとサブネットマスクをそれぞれ入力します。設定できれば【OK】をクリックします。

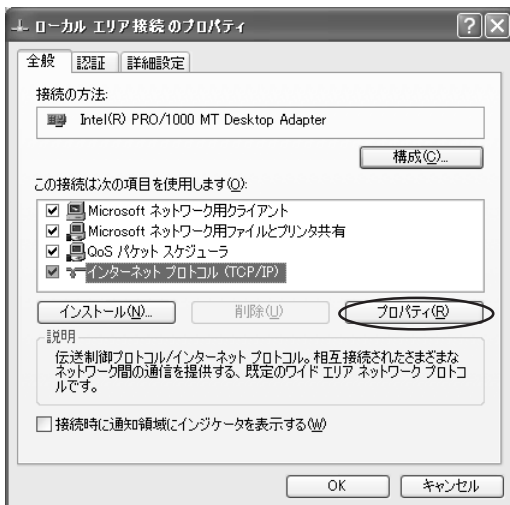


図の数値は入力例です。
この情報はネットワーク管理者
より入手してください。

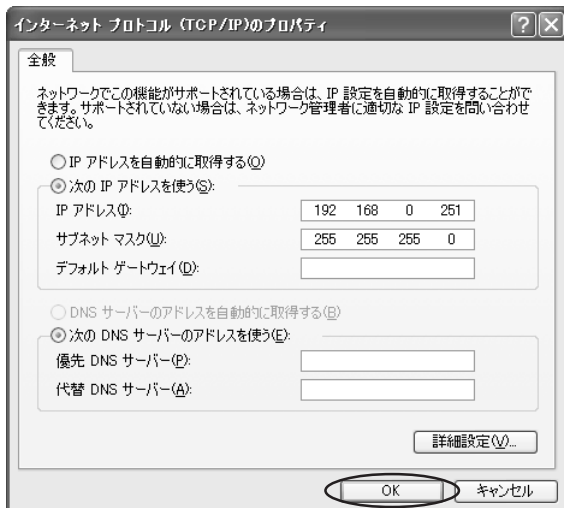
Windows 2000 / XP でお使いの場合

Windows 2000 / XP でお使いの場合のTCP/IPの設定を行います。以下の手順に従ってください。

- 1 システムを起動し、Administrator 権限でログインします。
【スタート】→【設定】→【コントロールパネル】→【ネットワーク】を開きます。
- 2 【ローカルエリア接続】アイコンを右クリックし、サブメニューから【プロパティ】を選択します。
- 3 【ローカルエリア接続のプロパティ】が表示されます。
「Microsoftネットワーク用クライアント」「Microsoftネットワーク用ファイルとプリンタ共有」「インターネットプロトコル (TCP/IP)」にチェックが入っていることを確認してください。
【インターネットプロトコル (TCP/IP)】を選択し、【プロパティ】をクリックします。



- 4** 【インターネットプロトコル (TCP/IP) のプロパティ】が表示されます。「次の IP アドレスを使う」を選択し、IP アドレスとサブネットマスクをそれぞれ入力します。設定できれば【OK】をクリックします。



3 クイック設定を行う

クライアントマシンの Web ブラウザより、YFS Controller Pro を呼び出し、本製品を設定します。

使用する Web ブラウザは Java スクリプトに対応している必要があります。

■ 接続する前に、本製品の IP アドレスを液晶表示パネルで確認します。

1 Web ブラウザを起動します。URL を入力し、< Enter >キーを押します。

DHCPサーバがある場合

URL の入力方法 `http:// Step 1 で確認した IP アドレス /`

DHCPサーバがない場合

URL の入力方法 `http://192.168.0.250 /`

この数値は入力例です。

2 ユーザー名（ユーザー ID）とパスワードを確認するダイアログが表示されます。

ユーザー名を「nasroot」、パスワードに「00000000」（数字の0が8個）と入力し、【ログイン】をクリックします。

パスワードの初期設定は「00000000」（数字の0が8個）です。

サーバにログインします。N-RAID000280

ユーザー名	<input type="text" value="nasroot"/>
パスワード	<input type="password" value="00000000"/>



3 YFS Controller Pro のシステム設定の画面が表示されます。

【クイック設定】を選択します。

YFS Controller Pro

システム設定

ヤノ 電器株式会社

nasroot

システム設定	システム設定
ユーザー設定	サーバー名 N-RAID000280
共有設定	表示言語 Japanese
サーバー管理	コードページ1 (Windows95/98) Japanese SJIS(932)
	コードページ2 (Mac OS X以前) Japanese (Mac)
	日付 09/16/2004 14:06:49
	タイムゾーン Asia/Tokyo

- 4** 本製品に設定するサーバー名を 14 文字以内で入力します。
入力したら【更新して次へ】をクリックします。

クイック設定	
サーバー名	N-RAID
<input type="button" value="更新して次へ"/> <input type="button" value="次へ"/>	



サーバー名には「2バイト文字」と「\$/:,;?*'"<>|`[]++.@() 空白」を含めることはできません。



同一ネットワーク上に重複したサーバー名を設定することはできません。他のサーバとサーバ名が重複しないように注意してください。

- 5** 以下のような画面が表示されます。【次へ】をクリックします。

クイック設定	
サーバー名を [N-RAID] に変更しました。	
<input type="button" value="次へ"/>	

- 6** 日付と時刻を設定します。日付・時刻はサーバの動作に大きく影響を与えますので、できるだけ正確に設定します。
NTPサーバを指定することも可能です。詳細についてはP55を参照してください。
【更新して次へ】をクリックすると、入力した日付・時刻を更新します。

クイック設定	
日付	9 / 16 / 2004
時間	14 : 7 : 31
NTPサーバ	<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> 手入力 clock.isc.org
<input type="button" value="更新して次へ"/> <input type="button" value="次へ"/>	

- 7** 以下のような画面が表示されます。【次へ】をクリックします。

クイック設定	
日付 & 時刻を変更しました。	
<input type="button" value="次へ"/>	

- 8** 本製品をサーバとして使用するために必要なネットワークの設定を行います。
入力できたら【更新して次へ】をクリックします。

クイック設定	
ネットワーク	Ether0 ▼
IP設定	DHCP/BOOTP ▼
IPアドレス	<input type="text"/>
サブネットマスク	<input type="text"/>
ルータアドレス	<input type="text"/>
速度	Auto ▼
DNSサーバーアドレス	172.16.1.1

更新して次へ

次へ

- 9** 再起動を促すメッセージが表示されます。
ここでは【次へ】を選択し設定を続けます。

クイック設定
ネットワークをDHCP/BOOTPに設定しました。変更は再起動後に有効になります。
再起動 <input type="button" value="次へ"/>

- 10** 本製品のボリュームの設定内容が表示されます。
【次へ】をクリックします。

クイック設定					
No.	タイプ	容量	使用量	ディスク	ステータス
Volume1	RAID 5	717948	32	1,2,3,4	使用中です。

作成

次へ



クイック設定では、ボリュームの削除や変更はできません。
ボリュームのディスク構成などを変更する場合は、P35を参照してボリュームを作成し直してください。

- 11** Windows ファイル共有を使用するかどうかの設定を行います。通常、【オン/オフ】は「設定する」を、【セキュリティレベル】は「ユーザ」を選択し、ワークグループを入力します。

Windows NT / 2000 / 2003ドメインに参加する必要がある場合は、【セキュリティレベル】で「ドメイン」を選択し、必要な項目を入力します。

入力が完了したら【更新して次へ】をクリックします。

クイック設定	
オン/オフ	<input checked="" type="radio"/> 設定する <input type="radio"/> 設定しない
サーバー名	N-RAID
セキュリティレベル	ユーザ ▼
ワークグループ	workgroup
PDC名	
PDC管理者名	
PDC管理者パスワード	
サーバー概要	N-RAID

更新して次へ

次へ

- 12** 以下のような画面が表示されます。【次へ】をクリックします。

クイック設定
Windowsネットワークの設定を変更しました。
次へ

- 13** 以下のような画面が表示されます。

クイック設定
クイック設定を終了しました。

これでクイック設定は完了です。

変更した設定を反映させるために【サーバー管理】メニューから【シャットダウン】→【再起動】を選択し、再起動を行ってください。

続けて、Step 4 で共有設定を行います。

ボリュームを作成し直す

作成済みのボリュームのディスク構成などを変更する場合は、以下の手順でボリュームを作成し直してください。



ボリュームを作成し直すと、ボリューム内のデータはすべて消去されます。ボリュームを作成し直す場合は、あらかじめデータのバックアップを実行してください。

1 YFS Controller Pro を呼び出します。(P31 を参照)

2 【システム設定】メニューから【ボリューム】を選択します。

システム設定	▶ボリューム	
ユーザー設定	ネットワーク	N-RAID000260
共有設定	サーバー名	Japanese
サーバー管理	使用言語	95/98) Japanese SJS(932)
	日付 & 時刻	93以前) Japanese (Mac)
クイック設定	日付	04/15/2004 15:05:59
	タイムゾーン	Asia/Tokyo

3 以下のような画面が表示されます。

作成し直すボリュームの行をクリックして選択し、【削除】をクリックします。

ボリューム					
No.	タイプ	容量	使用量	ディスク	ステータス
Volume1	RAID 5	717948	32	1,2,3,4	使用中です。

作成 削除 変更 初期化

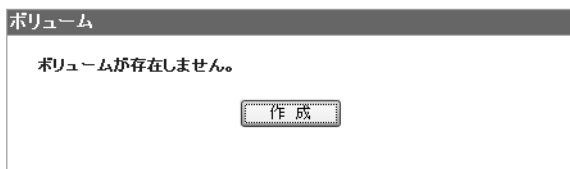
4 以下の画面が表示されますので、【OK】をクリックします。

削除

確認

削除すると以下の設定やデータが削除されます。よろしいですか？
共有フォルダ [Volume1] に以下のデータがあります。:
share

- 5** しばらくすると、以下の画面が表示されますので、【作成】をクリックします。



- 6** ボリュームの作成画面が現れますので、「タイプ」でディスク構成を選択してください。選択するタイプによって作成画面の表示が変わりますので、以下のタイプ別の説明を参照し、設定を行ってください。

・シングルディスクを選択した場合

1つのボリュームにつき1台のドライブを割り当てることができます。「Components」で割り当ててるディスクドライブの「R」のチェックボックスにチェックを入れます。



・RAID 0を選択した場合

「ストライプサイズ」を設定します。通常は「64KB」を選択してください。2台以上4台までのドライブを割り当てます。「Components」で割り当ててるディスクドライブの「R」のチェックボックスにチェックを入れます。



・RAID 1 を選択した場合

2台のドライブを割り当てます。「Components」で割り当てるディスクドライブの「R」のチェックボックスにチェックを入れます。

追加	
タイプ	<input type="radio"/> シングルディスク <input type="radio"/> RAID 0 <input checked="" type="radio"/> RAID 1 <input type="radio"/> RAID 3 <input type="radio"/> RAID 5
Components (R:RAIDディスク S:スペアディスク)	R <input checked="" type="checkbox"/>  R <input checked="" type="checkbox"/>  R <input type="checkbox"/>  R <input type="checkbox"/>  S <input type="checkbox"/> S <input type="checkbox"/> S <input type="checkbox"/> S <input type="checkbox"/>
<input type="button" value="OK"/> <input type="button" value="キャンセル"/> <input type="button" value="戻る"/>	

・RAID 3 を選択した場合

3台もしくは4台のドライブを割り当てます。「Components」で割り当てるディスクドライブの「R」のチェックボックスにチェックを入れます。

スペアディスクを設定する場合は4台のドライブで構成します。3台のドライブは「R」にチェックを入れ、残りの1台は「S」にチェックを入れます。

追加	
タイプ	<input type="radio"/> シングルディスク <input type="radio"/> RAID 0 <input type="radio"/> RAID 1 <input checked="" type="radio"/> RAID 3 <input type="radio"/> RAID 5
Components (R:RAIDディスク S:スペアディスク)	R <input checked="" type="checkbox"/>  R <input checked="" type="checkbox"/>  R <input checked="" type="checkbox"/>  R <input checked="" type="checkbox"/>  S <input type="checkbox"/> S <input type="checkbox"/> S <input type="checkbox"/> S <input type="checkbox"/>
<input type="button" value="OK"/> <input type="button" value="キャンセル"/> <input type="button" value="戻る"/>	



注意

RAID 3構成を成立させるためには、アクティブドライブ(R がチェックされたドライブ)が最低3つ設定される必要があります。

・RAID 5 を選択した場合

まず、「ストライプサイズ」を設定します。通常は「64KB」を選択してください。次に、3台もしくは4台のドライブを割り当てます。「Components」で割り当てるディスクドライブの「R」のチェックボックスにチェックを入れます。

スペアディスクを設定する場合は4台のドライブで構成します。3台のドライブは「R」にチェックを入れ、残りの1台は「S」にチェックを入れます。

追加	
タイプ	<input type="radio"/> シングルディスク <input type="radio"/> RAID 0 <input type="radio"/> RAID 1 <input type="radio"/> RAID 3 <input checked="" type="radio"/> RAID 5
ストライプサイズ	64 ▼ KB
Components (R:RAIDディスク S:スペアディスク)	R <input checked="" type="checkbox"/>  R <input checked="" type="checkbox"/>  R <input checked="" type="checkbox"/>  R <input checked="" type="checkbox"/>  S <input type="checkbox"/> S <input type="checkbox"/> S <input type="checkbox"/> S <input type="checkbox"/>
<input type="button" value="OK"/> <input type="button" value="キャンセル"/> <input type="button" value="戻る"/>	



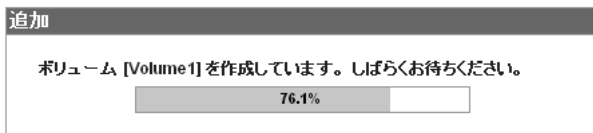
注意

RAID 5構成を成立させるためには、アクティブドライブ(R がチェックされたドライブ)が最低3つ設定される必要があります。

- 7** 手順 **6** の設定ができれば、【OK】をクリックします。以下のようなボリューム作成の進行を示す画面が現れます。



RAID 3, RAID 5 のボリューム作成が完全に終了するまで 60 ~ 200 分程度かかります。本製品では、ボリューム作成時に行われる RAID の構築をバックグラウンドで行っていますので、終了したかどうかを意識せずに設定を継続することができます。



- 8** ボリュームの作成が完了すると、再度、【ボリューム】の設定画面が表示されます。さきほど作成したボリュームが設定どおりに構成されていることを確認してください。
- 既存ボリュームのディスク構成に含まれていないドライブがある場合は、ボリュームを追加作成することができます。必要に応じて【作成】をクリックし、ボリュームを追加してください。

ボリューム					
No.	タイプ	容量	使用量	ディスク	ステータス
Volume1	RAID 1	239316	32	1,2	使用中です。

作成

削除

変更

初期化

4 ユーザ設定と共有設定を行う

クライアントマシンの Web ブラウザより、YFS Controller Pro を呼び出し、本製品を設定します。

使用する Web ブラウザは Java スクリプトに対応している必要があります。

Step 3 から引き続き作業する場合は、手順 **2** から行ってください。

1 YFS Controller Pro を呼び出しします。(P31 を参照)

2 まず、グループの登録を行います。

【ユーザー設定】メニューから【グループ】を選択します。

システム設定	システム設定	
ユーザー設定	ユーザー	N-RAID
共有設定	▶グループ	Japanese
サーバー管理	クォータ	95/98 Japanese Sjis(932)
クイック設定	コードページ2(Mac OS 9以前)	Japanese (Mac)
	日付	02/18/2004 10:44:25
	タイムゾーン	Asia/Tokyo

3 初期設定時には、グループは登録されていませんので、“グループが存在しません”というメッセージが表示されます。

【作成】をクリックし、グループの登録を行います。

グループ

グループが存在しません。

4 「グループ名」と「グループID」を入力します。

【OK】をクリックすると、入力したグループが登録されます。

登録

グループ名	<input type="text" value="staff"/>
グループID	<input type="text" value="101"/>



グループ名は半角英数字で最大 16 文字までです。1 文字目に「半角スペース」「-」「+」を使用することはできません。また、「半角スペース」と「:、,、@、”、¥、/」を含めることはできません。

- 5** グループの登録が完了すると、登録されたグループがリスト表示されます。引き続きグループを作成する場合は【作成】をクリックします。

グループ			
グループ名	グループID	所属グループ	ドメイン
staff	101		ローカル

- 6** 次に、ユーザの登録を行います。【ユーザー設定】メニューから【ユーザ】を選択します。

グループ			
グループ名	グループID	所属グループ	ドメイン
tarou	102	taro, yano	ローカル

- 7** 初期設定時には、ユーザは登録されていませんので、“ユーザが存在しません”というメッセージが表示されます。【作成】をクリックし、ユーザの登録を行います。

設定

ユーザが登録されていません。新規に登録してください。

- 8** 【ユーザー設定】に必要な情報を入力します。【OK】をクリックすると入力したユーザが登録されます。



注意

ユーザー名は半角、全角共に最大20文字までです。1文字目に「半角スペース」「-」「+」を使用することはできません。また、「半角スペース」と「:、,、@、”、¥、/」を含めることはできません。

登録	
ユーザー名	<input type="text" value="taro"/>
フルネーム	<input type="text" value="Taro Yamada"/>
新パスワード	<input type="password" value="••••"/>
パスワード確認	<input type="password" value="••••"/>
ユーザーID	<input type="text" value="100"/>
所属グループ	<input type="text" value="staff"/>

- 9** ユーザの登録が完了すると、登録されたユーザがリスト表示されます。引き続き、ユーザを登録する場合は【作成】を選択します。

設定				
ユーザー名	ユーザーID	フルネーム	グループ名	ドメイン
taro	100	Taro Yamada	staff	ローカル

- 10** 続いて、共有フォルダの登録を行います。【共有設定】メニューから【フォルダ】を選択します。

グループ				
システム設定	グループ名	グループID	所属グループ	ドメイン
ユーザー設定			taro, yano	ローカル
共有設定	▶フォルダ			
サーバー管理	アップスケー			
クイック設定	Macintosh			
	Windows			
	UNIX			

- 11** 初期設定時には、共有フォルダは登録されていないので、“共有フォルダがありません”というメッセージが表示されます。【作成】をクリックし、共有フォルダの登録を行います。

共有設定
共有フォルダがありません。新規に作成してください。
<input type="button" value="作成"/>

- 12** 「共有フォルダ」に必要な情報を入力します。フォルダー名はクライアントマシンに表示される共有フォルダの名称です。「パス」は、本製品の内部に設定されるフォルダー名です。パスとフォルダー名は同じ名前に設定します。【OK】をクリックすると入力した共有フォルダが登録されます。

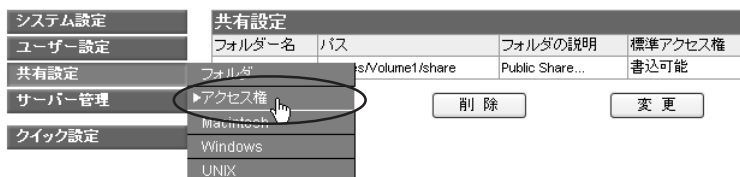
作成	
フォルダー名	<input type="text" value="share"/>
ボリューム	<input type="text" value="Volume1"/>
パス	<input type="text" value="/shares/Volume1/share"/>
フォルダの説明	<input type="text" value="Public Share Folder"/>
標準アクセス権	<input type="text" value="書込可能"/>

- 13** フォルダの登録が完了すると、登録された共有フォルダがリスト表示されます。引き続き、フォルダを登録する場合は【作成】をクリックします。



- 14** 登録したフォルダのアクセス権を設定します。

【共有設定】メニューから【アクセス権】を選択します。



- 15** 【共有フォルダ】からアクセス権を設定するフォルダを選択します。

【ユーザ/グループ】のアクセス権を設定し、【登録/更新】をクリックします。



これでクライアントマシンからの接続が可能になり、ファイル共有の準備が完了しました。

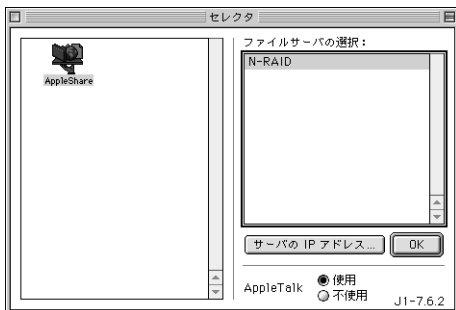
引き続き、Step 5 を参照し、クライアントマシンから共有フォルダへの接続を確認します。

クライアントからサーバに接続してみましょう。

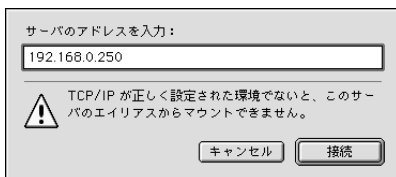
Mac OS 7.6 ~ 9.2.2 の場合

以下の手順でサーバに接続します。

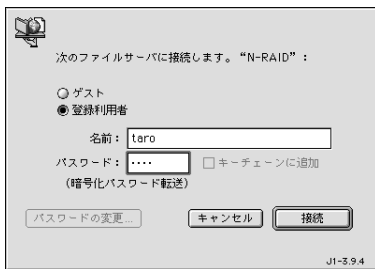
- 1** 【アップルメニュー】→【セレクト】を開きます。【AppleShare】を選択し、【ファイルサーバの選択】で【N-RAID（サーバー名）】を選び、【OK】をクリックします。



IPアドレスで指定する場合は、【サーバの IP アドレス】をクリックします。サーバの IP アドレスを「192.168.0.250」のように入力し、【接続】をクリックします。



- 2** 「登録利用者」を選び、「名前：」と「パスワード：」の欄に登録したユーザー名とパスワードを入力し、【接続】をクリックします。



注意

サーバが表示されない、あるいはユーザー認証画面に進まない場合は、【Step 2】を参照し AppleTalk が有効になっているかどうか確認してください。

- 3** 使用したい共有フォルダを選択し、【OK】をクリックします。



- 4** 選択した共有フォルダがデスクトップに現れます。フォルダにアクセスして使用します。



Mac OS X 10.1 ~の場合

以下の手順でサーバに接続します。

- 1** 【移動メニュー】 → 【サーバへ接続...】を開きます。
- 2** 【サーバへ接続】画面が表示されます。リストから「N-RAID (サーバー名)」を選び、【接続】をクリックします。



IPアドレスで指定する場合は、アドレス欄に「192.168.0.250」のように入力し、【接続】をクリックします。



- 3** 【登録ユーザ】を選び、「名前：」と「パスワード：」の欄に登録したユーザー名とパスワードを入力し、【接続】をクリックします。



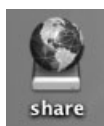
注意

サーバが表示されない、あるいはユーザー認証画面に進まない場合は、【Step 2】を参照しAppleTalkが有効になっているかどうか確認してください。

- 4** 使用したい共有フォルダを選択し、【OK】をクリックします。

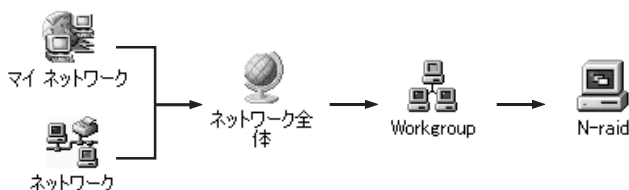


- 5** 選択した共有フォルダがデスクトップに現れます。フォルダにアクセスして使用します。

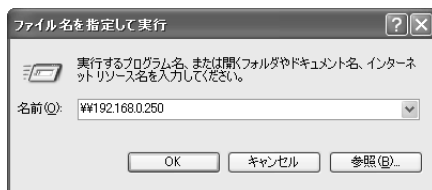


Windows の場合

- 1** デスクトップ上の【ネットワークコンピュータ】か【マイネットワーク】を開き、【ネットワーク全体】→(【Microsoft Windows Network】→)【Workgroup】→【N-raid (サーバー名)】を開きます。
Windows XP の場合、【マイネットワーク】→【ワークグループのコンピュータを表示する】→【N-raid (サーバー名)】を開きます。



IPアドレスで指定する場合は、【スタート】→【ファイル名を指定して実行】を開き、名前欄に【¥¥192.168.0.250】のように入力し、【OK】をクリックします。



サーバーが表示されないあるいはユーザー認証画面に進まない場合は、【Step 2】を参照しファイル共有が有効になっているかどうか確認してください。

- 2** ユーザー名とパスワードを入力し、【OK】をクリックします。



- 3** 表示されている共有フォルダにアクセスして使用します。



2 サーバを終了する

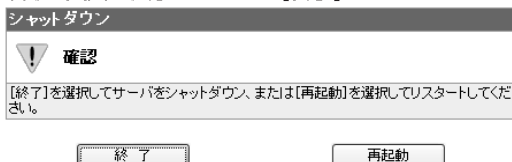
長時間使用しない場合などには以下の手順で本製品を終了してください。
また、本製品の電源スイッチを押してすぐに離しても、サーバを終了させることができます。

1 YFS Controller Pro を呼び出します。(P31 を参照)

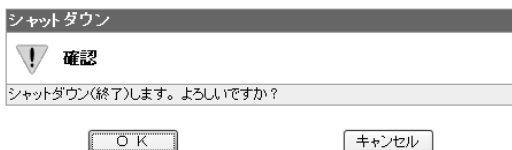
2 【サーバー管理】メニューから【シャットダウン】を選択します。



3 確認の画面が表示されます。【終了】をクリックします。



4 再度、確認の画面が表示されます。【OK】をクリックします。



これでサーバは終了し、電源が自動的に切れます。

サーバを強制終了する場合

サーバの異常時などで、上記の手順ではサーバを終了させることができない場合は、本体背面の電源スイッチを押し込んだまま数秒間待つと、電源は強制的に切れます。強制的に電源を切った場合、本製品は異常終了したと認識し、次の起動時に復旧動作（リビルド）を行うことがありますのでご注意ください。

Chapter

3

YFS Controller Pro で設定する

Web ブラウザから呼び出して、本製品の設定を行う管理ソフトのことを「YFS Controller Pro」といいます。ここでは、YFS Controller Proでの設定について説明します。

1 YFS Controller Pro で設定する

YFS Controller Pro には、「システム設定」「ユーザー設定」「共有設定」「サーバー管理」「クイック設定」という5つのメニューがあり、これらの設定メニューで本製品に関するさまざまな設定を行います。

YFS Controller Pro を起動する

以下の手順で YFS Controller Pro を呼び出してから、設定を行います。

- 1 Web ブラウザを起動します。URL を入力し、< Enter > キーを押します。

DHCPサーバーがある場合

・URL の入力方法 `http://Step 1 で確認した IP アドレス /`

DHCPサーバーがない場合

・URL の入力方法 `http://192.168.0.250 /` この数値は入力例です。

- 2 ユーザー名 (ユーザー ID) とパスワードを確認するダイアログが表示されますので、ユーザー名を「nasroot」、パスワードに「00000000」(数字の0が8個) と入力します。

すでにパスワードを変更している場合は、変更後のパスワードを入力します。

入力できたら【ログイン】をクリックします。

サーバーにログインします。N-RAID	
ユーザー名	<input type="text" value="nasroot"/>
パスワード	<input type="password" value="00000000"/>

ログイン

- 3 ログインすると、システム設定の画面が現れます。

システム設定	システム設定
ユーザー設定	サーバー名 N-RAID
共有設定	表示言語 Japanese
サーバー管理	コードページ1 (Windows95/98) Japanese_SJIS(932)
	コードページ2 (Mac OS 9以前) Japanese (Mac)
クイック設定	日付 02/20/2004 18:09:37
	タイムゾーン Asia/Tokyo

設定の内容を確認したり、変更したりする場合は、左側の設定項目から該当するメニューを選択します。

各設定メニューについての詳しい説明は、該当するページを参照してください。

- ・システム設定P51 へ進んでください。
- ・ユーザー設定P56 へ進んでください。
- ・共有設定P63 へ進んでください。
- ・サーバー管理P73 へ進んでください。
- ・クイック設定P31 へ進んでください。

2 システム設定

システム設定では、「ボリューム」「サーバー名」「ネットワーク」「使用言語」「日付&時刻」に関する設定を行います。

ボリューム



本製品は、搭載されているドライブを「ボリューム」として取り扱います。お使いの用途に合わせ、搭載されている4台のドライブで「シングルディスク」もしくは「RAID」を構成し、ボリュームを作成してください。本製品は、出荷時に4台のドライブで「RAID 5」を構成し、1つのボリュームを作成しています。

1 YFS Controller Pro を呼び出します。(P50 を参照)

2 【システム設定】メニューから【ボリューム】を選択します。

3 以下のような画面が表示されます。表を参照のうえ設定してください。

ボリューム					
No.	タイプ	容量	使用量	ディスク	ステータス
Volume1	RAID 5	717948	32	1,2,3,4	使用中です。

No.	ボリュームのナンバーです。
タイプ	ボリュームのディスク構成を表示します。
容量	ボリューム全体の容量をMBで表示します。
使用量	ボリューム内で使用されている容量をMBで表示します。
ディスク	搭載されているドライブのうち、ボリュームに構成されているディスクのナンバーが表示されます。
ステータス	ボリュームの状態を表示します。
作成	既存ボリュームのディスク構成に含まれていないドライブがある場合に、ボリュームを追加作成します。P36の 6 と同様の手順で作成してください。
削除	既存のボリュームを削除します。新たにボリュームを作成し直す場合は、P35を参照してください。
変更	既存ボリュームの設定内容を変更します。
初期化	選択したボリューム内のデータを初期化します。

ネットワーク

サーバの IP アドレスは、Step 1 の手順で設定された値になっています。

YFS Controller Pro では、既存のネットワークに導入するために、さらに詳細なネットワーク設定を行うことができます。

- 1 YFS Controller Pro を呼び出します。(P50 を参照)
- 2 【システム設定】メニューから【ネットワーク】を選択します。
- 3 以下のような画面が表示されます。表を参照のうえ設定してください。

ネットワーク	
ネットワーク	Ether0
IP設定	手入力
IPアドレス	192.168.0.250
サブネットマスク	255.255.255.0
ルータアドレス	192.168.0.1
速度	Auto
DNSサーバーアドレス	192.168.0.2

ネットワーク	ネットワークインターフェイスの選択を行います。「Ether0」が選択されていることを確認します。
IP設定	IP アドレスを DHCP/BOOTP サーバより取得するか、手入力で設定するかを選択します。
IPアドレス	IP 設定で手入力を選択した場合、サーバーの IP アドレスを入力します。「.」で 4 つに区切って入力してください。使える文字は、半角数字と「.」のみです。
サブネットマスク	IP 設定で手入力を選択した場合、ネットワークのサブネットマスクを設定します。「.」で 4 つに区切って入力してください。使える文字は、半角数字と「.」のみです。
ルータアドレス	IP 設定で手入力を選択した場合、ネットワークのルータアドレス(デフォルトゲートウェイ)を指定します。「.」で 4 つに区切って入力してください。使える文字は、半角数字と「.」のみです。
速度	ネットワークインターフェイスの速度を選択します。「Auto」を選択すると、接続したネットワークを検出し、自動的に最適な速度に設定されます。
DNSサーバーアドレス	DNS (Domain Name Service) サーバーのアドレスを指定します。「.」で 4 つに区切って入力してください。使える文字は、半角数字と「.」のみです。

IP アドレスを変更すると、YFS Controller Pro を呼び出す時の IP アドレスも変更されますので ご注意ください。

- 4 設定が完了したら、【登録/更新】をクリックします。

サーバー名

ファイル共有時にクライアントマシンで識別されるサーバー名を設定します。

- 1 YFS Controller Pro を呼び出します。(P50 を参照)
- 2 【システム設定】メニューから【サーバー名】を選択します。
- 3 以下のような画面が表示されます。表を参照のうえ設定してください。

サーバー名	
サーバー名	<input type="text" value="N-R.AIC"/>
<input type="button" value="登録 / 更新"/> <input type="button" value="キャンセル"/>	
サーバー名	ファイル共有時にクライアントマシンで識別されるサーバー名を設定します。出荷時はユニークなサーバー名が設定されています。変更する場合は、同一ネットワーク内でサーバー名が重複しないように注意してください。

- 4 設定が完了したら、【登録 / 更新】をクリックします。

使用言語

YFS Controller Pro が表示する言語と、クライアントマシンからファイル共有を行う時のファイル名やフォルダ名のコードページを設定します。

通常コードページは変更する必要がありません。

1 YFS Controller Pro を呼び出します。(P50 を参照)

2 【システム設定】メニューから【使用言語】を選択します。

3 以下のような画面が表示されます。表を参照のうえ設定してください。

言語	
表示言語	Japanese ▼
コードページ1(Windows95/98)	Japanese SJIS(932) ▼
コードページ2(Mac OS 9以前)	Japanese (Mac) ▼

登録 / 更新

キャンセル

表示言語	YFS Controller Pro の表示言語を設定します。 初期設定は「Japanese」です。 Browser Default Languages を選択すると、Web ブラウザの言語設定に合わせて表示されます。
コードページ 1 (Windows95/98)	クライアントマシンに Windows95/98 を使用した時のコードページを設定します。 この設定で他のバージョンの Windows は影響を受けません。 初期設定は「Japanese SJIS」です。
コードページ 2 (Mac OS 9 以前)	Mac OS 9 までの Mac OS の Macintosh をクライアントマシンに使用した時のコードページを設定します。 初期設定は「Japanese(Mac)」です。

4 設定が完了したら、【登録 / 更新】をクリックします。

日付&時刻

サーバーに日付と時刻を設定します。

- 1 YFS Controller Pro を呼び出します。(P50 を参照)
- 2 【システム設定】メニューから【日付&時刻】を選択します。
- 3 以下のような画面が表示されます。表を参照のうえ設定してください。

日付&時刻	
日付	<input type="text" value="9"/> / <input type="text" value="16"/> / 2004
時間	<input type="text" value="14"/> : <input type="text" value="15"/> : <input type="text" value="0"/>
NTPサーバ	<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> 手入力 <input type="text" value="clock.isc.org"/>

日付	日付を設定します。
時間	時刻を設定します。
NTPサーバ	NTPサーバを使用して日付と時刻を自動調整する場合は、「はい」のチェックボックスをクリックします。NTPサーバのリストから任意のサーバを選択します。 NTPサーバのIPアドレスを直接指定する場合は、「手入力」のチェックボックスをクリックし、NTPサーバのIPアドレスを入力します。半角数字を「.」で4つに区切って入力してください。

- 4 設定が完了したら、【登録/更新】をクリックします。

3 ユーザー設定

ユーザー設定では「ユーザー」「グループ」「クォータ」に関する設定を行います。

ユーザ

サーバーに接続できるユーザを新規に登録したり、その登録内容を変更することができます。サーバーはクライアントマシンからのアクセスに対し、ここで設定されたユーザー情報を元に認証を行います。



ユーザーの登録には、グループの設定が必要です。出荷時には、ユーザー、グループ共に登録されていませんので、ユーザーを登録する前にグループの登録(P59を参照)が必要です。

- 1 YFS Controller Pro を呼び出します。(P50を参照)
- 2 【ユーザー設定】メニューから【ユーザ】を選択します。
- 3 以下のような画面が表示されます。表を参照のうえ設定してください。

設定				
ユーザー名	ユーザーID	フルネーム	グループ名	ドメイン
taro	100	Taro Yamada	staff	ローカル

ユーザー名	設定したユーザー名を表示します。
ユーザーID	サーバーが管理するユーザーIDを表示します。
フルネーム	設定したユーザーのフルネームを表示します。
グループ名	ユーザーが所属するグループを表示します。
ドメイン	ユーザーが所属するドメインを表示します。
作成	ユーザーを新規に登録します。詳しくは次ページを参照。
削除	登録済みのユーザーを削除します。詳しくは次ページを参照。
変更	登録済みのユーザー設定を変更します。詳しくはP58を参照。

ユーザーの作成

- 1 ユーザーリスト下の【作成】をクリックすると、以下のような画面が表示されます。表を参照のうえ設定してください。

登録	
ユーザー名	<input type="text" value="taro"/>
フルネーム	<input type="text" value="Taro Yamada"/>
新パスワード	<input type="password" value="****"/>
パスワード確認	<input type="password" value="****"/>
ユーザーID	<input type="text" value="100"/>
所属グループ	<input type="text" value="staff"/>

ユーザー名	ユーザー名を入力します。Windowsの場合は、OS にログインする時と同じユーザー名にしてください。 使用できる文字は、半角/全角共に最大20文字までです。
フルネーム	設定するユーザのフルネームを入力します。 使用できる文字は、半角/全角共に最大80文字までです。
新パスワード	パスワードを入力します。Windowsの場合は、OS にログインする時と同じパスワードにしてください。 使用できる文字は、半角英数字で最大14文字までです。
パスワード確認	確認のために再度パスワードを入力します。【新パスワード】に入力したものと照合します。
ユーザーID	サーバ内部で管理されるユーザーIDを設定します。 通常は、表示されているユーザーIDを変更せずにそのまま使用します。
所属グループ	ユーザが所属するグループを選択します。

- 2 設定が完了したら、【OK】をクリックします。

ユーザーの削除

- 1 ユーザーリストから削除するユーザーを選択し、【削除】ボタンをクリックします。
- 2 確認画面が表示されます。削除してよければ、【OK】をクリックします。

ユーザーの変更

- 1** ユーザーリストから変更するユーザーを選び、【変更】をクリックすると、以下のような画面が表示されます。表を参照のうえ設定してください。

変更	
ユーザー名	<input type="text" value="taro"/>
フルネーム	<input type="text" value="Taro Yamada"/>
パスワード変更	<input type="password" value="....."/>
パスワード確認	<input type="password" value="....."/>
グループ名	<input type="text" value="staff"/> <div style="text-align: center;">↓</div>
選択候補	<div style="text-align: center;">↑</div> <input type="text"/>

ユーザー名	ユーザー名を入力します。Windowsの場合は、OSにログインする時と同じユーザー名にしてください。 使用できる文字は、半角/全角共に最大20文字までです。
フルネーム	設定するユーザのフルネームを入力します。 使用できる文字は、半角/全角共に最大80文字までです。
パスワード変更	変更するパスワードを入力します。Windowsの場合は、OSにログインする時と同じパスワードにしてください。 使用できる文字は、半角英数字で最大14文字までです。
パスワード確認	確認のために再度パスワードを入力します。【パスワード変更】に入力したものと照合します。
グループ名	ユーザーが所属するグループ名が表示されます。所属を解除する場合は、グループ名を選択して矢印ボタンをクリックします。
選択候補	登録済みのグループ名が表示されます。ユーザを所属させたいグループを選択して矢印ボタンをクリックします。

- 2** 設定が完了したら、【登録 / 更新】をクリックします。

グループ

ユーザが所属するグループを登録します。クライアントマシンからの認証には直接影響しませんが、グループ単位でのアクセス管理(権限設定)ができるので運用が容易になります。

- 1** YFS Controller Pro を呼び出します。(P50 を参照)
- 2** 【ユーザー設定】メニューから【グループ】を選択します。
- 3** 以下のような画面が表示されます。表を参照のうえ設定してください。

グループ			
グループ名	グループID	所属グループ	ドメイン
staff	101	taro	ローカル

グループ名	設定したグループを表示します。
グループID	サーバーが管理するグループIDを表示します。
所属グループ	グループに所属しているユーザを表示します。
ドメイン	グループが所属するドメインを表示します。
作成	グループを新規に登録します。詳しくは次ページを参照。
削除	登録済みのグループを削除します。詳しくはP61を参照。
変更	登録済みのグループ設定を変更します。詳しくはP61を参照。

グループの作成

- 1** グループリスト下の【作成】をクリックすると、以下のような画面が表示されます。表を参照のうえ設定してください。

登録	
グループ名	<input type="text"/>
グループID	<input type="text" value="102"/>
選択候補	<div style="border: 1px solid gray; padding: 5px;"> hanako taro yano </div> <div style="text-align: center; margin-top: 5px;">↓</div>
所属グループ	<div style="text-align: center; margin-bottom: 5px;">↑</div> <div style="border: 1px solid gray; height: 40px; width: 100%;"></div>

グループ名	グループ名を入力します。使用できる文字列は、半角英数字の16文字までです。
グループID	サーバー内部で管理されるグループIDを設定します。通常は、表示されているグループIDを変更せずにそのまま使用します。
選択候補	登録済みのユーザー名が表示されます。所属させたいユーザー名を選択して矢印ボタンをクリックします。
所属グループ	グループに所属するユーザー名が表示されます。所属を解除する場合は、ユーザー名を選択して矢印ボタンをクリックします。



ユーザーが登録されていない場合、グループ名とグループIDのみが表示されます。

- 2** 設定が完了したら、【OK】をクリックします。

グループの削除

- 1 グループリストから削除するグループを選び、【削除】をクリックします。
- 2 確認画面が表示されます。削除してよければ【OK】をクリックします。

グループの変更

- 1 グループリストから変更するグループを選び、【変更】をクリックすると、以下のよう画面が表示されます。表を参照のうえ設定してください。

変更	
グループ名	<input type="text" value="staff"/>
グループID	101
所属グループ	<input type="text" value="taro"/> <div style="text-align: center;">↓</div>
選択候補	<div style="text-align: center;">↑</div> <input type="text"/>

グループ名	設定したグループ名を表示します。
グループID	サーバーが管理するグループIDを表示します。
所属グループ	グループに所属するユーザー名が表示されます。所属を解除する場合は、ユーザー名を選択して矢印ボタンをクリックします。
選択候補	登録済みのユーザー名が表示されます。所属させたいユーザー名を選択して矢印ボタンをクリックします。

- 2 設定が完了したら、【登録/更新】をクリックします。

クォータ

クォータは、ファイル共有時にクライアントマシンより利用可能なファイル容量を管理します。ボリューム毎もしくはユーザー毎に設定することができます。

- 1 YFS Controller Pro を呼び出します。(P50 を参照)
- 2 【ユーザー設定】メニューから【クォータ】を選択します。
- 3 以下のような画面が表示されます。表を参照のうえ設定してください。

クォータ	
クォータ	<input checked="" type="radio"/> ボリューム別設定 <input type="text" value="GUEST"/> <input type="radio"/> ユーザー別設定 <input type="text" value="Volume1"/>

ボリューム名	最大	最小	使用量
Volume1	239316	<input type="text" value="239316"/>	0
Volume2	239316	<input type="text" value="239316"/>	0
Volume3	239316	<input type="text" value="239316"/>	0
Volume4	239316	<input type="text" value="239316"/>	0

クォータ	「ボリューム別設定」もしくは「ユーザー別設定」を選択します。
ボリューム名	ボリューム名を表示します。
最大	ボリュームの最大容量を表示します。
最小	ボリューム別もしくはユーザー別に割り当てる容量を入力します。
使用量	データ使用量を表示します。

- 4 設定が完了したら、【登録 / 更新】をクリックします。

4 共有設定

フォルダ

共有フォルダの設定を行います。

- 1 YFS Controller Pro を呼び出します。(P50 を参照)
- 2 【共有設定】メニューから【フォルダ】を選択します。
- 3 以下のような画面が表示されます。表を参照のうえ設定してください。

共有設定			
フォルダ名	パス	フォルダの説明	標準アクセス権
share	/shares/volume1/share	Public Share...	書込可能

フォルダ名	設定したフォルダ名を表示します。
パス	サーバー上のボリュームに作成されたパスを表示します。
フォルダの説明	フォルダ作成時および変更時に入力したフォルダの説明を表示します。
標準アクセス権	フォルダの基本的なアクセス権を表示します。
作成	フォルダを新規に作成します。詳しくは次ページを参照。
削除	作成済みのフォルダを削除します。詳しくは次ページを参照。
変更	作成済みのフォルダ設定を変更します。詳しくはP65を参照。

フォルダの作成

- 1 フォルダリスト下の【作成】をクリックすると、以下のような画面が表示されます。表を参照のうえ設定してください。

作成	
フォルダー名	<input type="text"/>
ボリューム	Volume1 ▾
パス	/shares/Volume1/ <input type="text"/>
フォルダの説明	<input type="text"/>
標準アクセス権	書込可能 ▾

フォルダー名	フォルダー名を入力します。Macintoshの「セクタ」「サーバへ接続...」やWindowsの「マイネットワーク」に表示される名称です。 使用可能な文字列は、半角/全角共に最大で12文字までです。
ボリューム	共有フォルダを作成するボリュームを選択します。
パス	サーバ上のボリュームに作成されるパスを入力します。 通常はフォルダー名と同じ名前に設定します。 使用可能な文字列は、半角/全角共に最大で96文字までです。
フォルダの説明	フォルダの説明や備考などを入力します。Windowsの「マイネットワーク」で詳細表示した際に表示されます。 使用可能な文字列は、半角/全角共に最大で80文字までです。 この項目は入力しなくても構いません。
標準アクセス権	作成する共有フォルダの基本的なアクセス権を設定します。 アクセス権の設定で詳細な設定を行うこともできます(P66を参照)。

- 2 設定が完了したら、【OK】をクリックします。

フォルダの削除

- 1 フォルダリストから削除するフォルダを選び、【削除】をクリックします。
- 2 確認画面が表示されます。削除してよければ【OK】をクリックします。

フォルダの変更

- 1** フォルダリストから変更するフォルダを選び、【変更】をクリックすると、以下のよう画面が表示されます。表を参照のうえ設定してください。

変更	
フォルダ名	<input type="text" value="share"/>
フォルダの説明	<input type="text" value="Public Share Folder"/>

フォルダ名	フォルダ名を入力します。Macintoshの「セレクト」「サーバへ接続...」やWindowsの「マイネットワーク」に表示される名称です。 使用可能な文字列は、半角/全角共に最大で12文字までです。
フォルダの説明	フォルダの説明や備考などを入力します。Windowsの「マイネットワーク」で詳細表示した際に表示されます。 使用可能な文字列は、半角/全角共に最大で80文字までです。 この項目は入力しなくても構いません。

- 2** 設定が完了したら、【登録/更新】をクリックします。

アクセス権

クライアントマシンからのアクセス権限を共有フォルダ毎に管理します。

Windows/Macintoshからのアクセス権を設定する

- 1 YFS Controller Pro を呼び出します。(P50 を参照)
- 2 【共有設定】メニューから【アクセス権】を選択します。
- 3 以下のような画面が表示されます。表を参照のうえ設定してください。

アクセス権			
共有フォルダ	share ▼		
クライアント	<input checked="" type="radio"/> Windows / Macintosh <input type="radio"/> Unix		
ユーザ/グループ	読出可能	書込可能	接続不可
GUEST	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
⊕ staff	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>
<input type="button" value="登録 / 更新"/>		<input type="button" value="キャンセル"/>	

共有フォルダ	アクセス権を設定するフォルダを選択します。
クライアント	クライアントの種類を選択します。選択する種類によって以降の設定内容が変わります。 ・Windows / Macintoshの場合は以下の項目を参照 ・Unixの場合は次ページを参照
ユーザ/グループ	登録済みのユーザおよびグループが表示されます。
読出可能	ユーザ/グループに対して、読出可能に設定する場合に選択します。
書込可能	ユーザ/グループに対して、書込可能に設定する場合に選択します。
接続不可	ユーザ/グループに対して、接続不可に設定する場合に選択します。



グループに所属するユーザー毎にアクセス権を設定する場合、グループ名の先頭にある「+」をクリックし、グループ内のユーザーを表示させてから、各ユーザー毎の設定を行います。

- 4 設定が完了したら【登録 / 更新】をクリックします。

UNIXからのアクセス権を設定する

- 1** YFS Controller Pro を呼び出します。(P50 を参照)
- 2** 【共有設定】メニューから【アクセス権】を選択します。
- 3** 「クライアント」の項目で「Unix」を選択します。
- 4** 以下のような画面が表示されます。表を参照のうえ設定を行ってください。

アクセス権	
共有フォルダ	share ▼
クライアント	<input type="radio"/> Windows / Macintosh <input checked="" type="radio"/> Unix

利用可能ホスト	アクセス権	ルートアクセス
All Hosts	読出可能	いりえ

作成

削除

変更

共有フォルダ	アクセス権を設定するフォルダを選択します。
クライアント	クライアントの種類を選択します。選択する種類によって以降の設定内容が変わります。 ・Windows / Macintoshの場合...前ページを参照 ・Unixの場合...以下を参照
利用可能ホスト	利用可能なホストを表示します。
アクセス権	基本的なアクセス権を表示します。
ルートアクセス	ルートアクセスが可能かどうかを表示します。
作成	アクセス権を新規に作成します。詳しくは次ページを参照。
削除	作成済みのアクセス権を削除します。詳しくは次ページを参照。
変更	作成済みのアクセス権を変更します。詳しくはP69を参照。

■ UNIXからのアクセス権の作成

- 1 アクセス権リスト下の【作成】をクリックすると、以下のような画面が表示されます。表を参照のうえ設定してください。

追加	
エクスポートパス	/shares/Volume1/share
ホスト名	<input checked="" type="radio"/> All Hosts <input type="radio"/> <input type="text"/>
アクセス権	読出可能 ▼
ルートアクセス	いいえ ▼

エクスポートパス	設定を行うフォルダのパスを表示します。
ホスト名	アクセスを許可するホストを指定します。全てのホストに対しアクセスを許可する場合は "All Hosts" を選択します。個別にホストを指定する場合は、DNSで名前解決可能な名称もしくはIPアドレスを入力します。
アクセス権	基本的なアクセス権を表示します。
ルートアクセス	ルート権限でのアクセスを可能にするかどうかを選択します。

- 2 設定が完了したら【OK】をクリックします。

■ UNIXからのアクセス権の削除

- 1 アクセス権リストから、削除するアクセス権を選び【削除】をクリックします。
- 2 確認画面が表示されます。削除してよければ【OK】をクリックします。

■ UNIX からのアクセス権の変更

- 1** アクセス権リストから、変更するアクセス権を選び【変更】をクリックすると、以下のような画面が表示されます。表を参照のうえ設定してください。

変更	
エクスポートパス	/shares/Volume1/share1
ホスト名	All Hosts
アクセス権	読出可能 ▼
ルートアクセス	いいえ ▼

エクスポートパス	設定を行うフォルダのパスを表示します。
ホスト名	アクセスを許可するホストのホスト名もしくはIPアドレスを表示します。
アクセス権	基本的なアクセス権を表示します。
ルートアクセス	ルート権限でのアクセスを可能にするかどうかを選択します。

- 2** 設定が完了したら【登録/更新】をクリックします。

Macintosh

サーバの共有ファイルを Macintosh から使用するための設定を行います。



すでに、Macintoshからファイル共有を行っている時に、この設定を変更すると接続が切断されます。各クライアントのファイル共有を終了してから、設定を行ってください。

- 1** YFS Controller Pro を呼び出します。(P50 を参照)
- 2** 【共有設定】メニューから【Macintosh】を選択します。
- 3** 以下のような画面が表示されます。表を参照のうえ設定してください。

Macintosh	
オン/オフ	<input checked="" type="radio"/> 設定する <input type="radio"/> 設定しない
PDC認証	<input type="checkbox"/> 設定する
ゾーン名	ET2 Server ▼

登録 / 更新

キャンセル

オン / オフ	Macintosh ファイル共有の使用 / 不使用を設定します。
PDC認証	ユーザ認証などにPDCサーバを参照する場合にチェックを入れます。
ゾーン名	サーバが接続されたネットワークに AppleTalk ゾーンが存在する場合に、サーバが所属するゾーンを選択します。

- 4** 設定が完了したら【登録 / 更新】をクリックします。

Windows

サーバの共有ファイルを Windows から使用するための設定を行います。

- 1 YFS Controller Pro を呼び出します。(P50 を参照)
- 2 【共有設定】メニューから【Windows】を選択します。
- 3 以下のような画面が表示されます。表を参照のうえ設定してください。

Windows	
オン/オフ	<input checked="" type="radio"/> 設定する <input type="radio"/> 設定しない
サーバー名	N-RAID
セキュリティレベル	ユーザ ▾
ワークグループ	workgroup
PDC名	
PDC管理者名	
PDC管理者パスワード	
サーバー概要	N-RAID

登録/更新

キャンセル

オン/オフ	Windows ファイル共有の使用 / 不使用を設定します。
セキュリティレベル	Windows 共有でのサーバのセキュリティレベルの設定で、ユーザまたはドメインが設定可能です。 "ユーザ"は、ユーザ認証をクライアントとサーバー間のみで行うもので、ワークグループの定義が必要です。 "ドメイン"は、サーバがWindowsNTなどのドメインに追加されていて、ユーザー認証の時はサーバがドメインコントローラに問い合わせを行います。
ワークグループ	サーバが参加するワークグループを入力します。
サーバー概要	Windowsのマイネットワークのコメントで表示される内容を入力します。使える文字は、半角英数字で最大32文字、漢字・ひらがなで最大16文字です。



【PDC名】、【PDC管理者名】、【PDC管理者パスワード】はセキュリティレベルを「ドメイン」を選択した場合に入力可能となります。

- 4 設定が完了したら【登録/更新】をクリックします。

UNIX

サーバの共有ファイルをUNIXから使用するための設定を行います。

- 1 YFS Controller Pro を呼び出します。(P50を参照)
- 2 【共有設定】メニューから【UNIX】を選択します。
- 3 以下のような画面が表示されます。表を参照のうえ設定してください。

UNIX	
オン/オフ	<input type="radio"/> 設定する <input checked="" type="radio"/> 設定しない
<input type="checkbox"/> NISドメインを利用する	<input type="text" value="(none)"/>

登録 / 更新

キャンセル

オン / オフ	UNIXファイル共有の使用 / 不使用を設定します。
---------	----------------------------

以下の設定は、オン / オフに「設定する」を選択した場合に有効となります。

NISドメインを利用する	ユーザ認証などにNISサーバを参照する場合に、チェックを入れNISドメイン名を入力します。
--------------	---

- 4 設定が完了したら【登録 / 更新】をクリックします。

5 サーバー管理

サーバの状態を確認したり、サーバを管理するための各種設定を行います。

ステータス

サーバの各種状態を表示します。

【サーバー管理】メニューから【ステータス】を選択すると、さらにサブメニューが表示されます。各メニューの内容については以下をご覧ください。

システム設定	システム設定	
ユーザー設定	サーバー名	N-RAID
共有設定	表示言語	Japanese
サーバー管理	ステータス	一般
クイック設定	障害通知	CPU
	SNMP	メモリー
	パスワード	ネットワーク
	設定ファイル	ボリューム
	ファームウェア	フォルダ
	無停電電源装置 (UPS)	アクティブアクセス
	ログアウト	ログ
	シャットダウン	

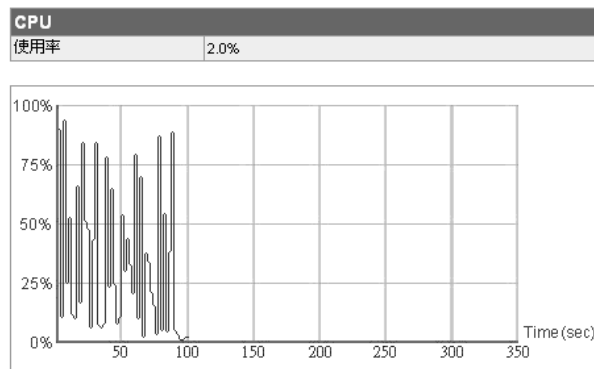
一般

本製品の機種種のシリアル番号や、バージョンを表示します。

システム	
会社名	Yano Electric
製品名	N-RAID
型番	4000Z
シリアル番号	000456
ハードウェア	1.2
ファームウェア	1.1B(2004/02/10)

CPU

CPUの使用率をグラフ表示します。



メモリー

サーバに実装されたメモリーの情報を表示します。

メモリー	
メモリーサイズ	256 MB
メモリータイプ	SDRAM

ネットワーク

サーバのネットワーク設定と接続状況を表示します。

ネットワーク	
NIC	Ether0
接続	はい
セットアップ	手入力
IPアドレス	192.168.0.250
サブネットマスク	255.255.255.0
ゲートウェイ	192.168.0.1
DNSサーバーアドレス	172.16.1.1
MACアドレス	00:06:12:00:02:80
速度	100 Mb/s, Full Duplex

ボリューム


ディスクドライブの状況と、設定されたボリュームの状況を表示します。

ボリューム			
ディスク			
品番	型番	容量	ステータス
Disk 1	Maxtor 7Y250P0	239316	ボリューム [1]
Disk 2	Maxtor 7Y250P0	239316	ボリューム [1]
Disk 3	Maxtor 7Y250P0	239316	ボリューム [1]
Disk 4	Maxtor 7Y250P0	239316	ボリューム [1]

ボリューム					
No.	タイプ	容量	使用量	ディスク	ステータス
Volume1	RAID 5	717948	32	1,2,3,4	使用中です。

フォルダ

ボリュームの下に作成されたフォルダを表示します。

フォルダ			
現在のパス : /shares			
名前	オーナー	サイズ	日付
 Volume1	root	4096	2004/02/13 14:49

ボリュームのアイコンを選択すると、ボリュームに作成された共有フォルダが表示されます。

フォルダ				
現在のパス : /shares/Volume1				
削除	名前	オーナー	サイズ	日付
	上位ディレクトリ			
<input checked="" type="checkbox"/>	 share	root	4096	2004/02/13 15:06

同じ手順で、共有フォルダの下に作成されたフォルダを表示することができます。また、共有フォルダの下の不要なフォルダやファイルを削除することもできます。

アクティブアクセス

現在のサーバへ接続しているクライアントの状況が確認できます。

アクティブアクセス				
共有フォルダ	ユーザ	ホスト	ログイン時間	プロトコル
share	yano	your-jzw80w2vhz	Fri Feb 13 15:18:08 2004	SMB
share	taro	172.16.81.90	Fri Feb 13 15:16:53 2004	AFP

ログ

サーバに記録されたログを確認することができます。

ログ			
<input checked="" type="radio"/> 情報 <input type="radio"/> 警告 <input type="radio"/> エラー <input type="radio"/> ログをダウンロードする <input type="radio"/> ログを消去する			
レベル	日付	時間	メッセージ
Info	2004/02/13	15:19:11	All log has been cleared

障害通知

サーバーに障害が発生した時の設定を行います。

障害通知は、ブザーによる通知とメールによる通知を行うことができます。

ブザー通知設定

サーバーに障害が発生した時にブザーによる通知の設定を行います。

- 1 YFS Controller Pro を呼び出します。(P50 を参照)
- 2 【サーバー管理】メニューから【障害通知】を選択します。
- 3 以下のような画面が表示されます。表を参照のうえ設定してください。

障害通知			
ステータス	<input checked="" type="radio"/> ブザー <input type="radio"/> メール		
ブザー	<input checked="" type="radio"/> 設定する <input type="radio"/> 設定しない		
温度	ファン	ディスク	ボリューム
<input checked="" type="checkbox"/> CPU	<input checked="" type="checkbox"/> CPU ファン	<input checked="" type="checkbox"/> Disk1 <input checked="" type="checkbox"/> Disk2 <input checked="" type="checkbox"/> Disk3 <input checked="" type="checkbox"/> Disk4	<input checked="" type="checkbox"/> Volume1

登録/更新

キャンセル

ステータス	通知方法を選択します。“メール”を選択すると画面が切り替わります。詳細については次ページを参照。
ブザー	ブザーによる通知をするかどうかを選択します。
温度	CPU温度の異常が検知された場合に通知するかどうかを選択します。通知を行わない場合は、スピーカーマークをクリックし、「×」を表示させます。
ファン	ファンの異常が検知された場合に通知するかどうかを選択します。通知を行わない場合は、スピーカーマークをクリックし、「×」を表示させます。
ディスク	ディスクの異常が検知された場合に通知するかどうかを選択します。通知を行わない場合は、スピーカーマークをクリックし、「×」を表示させます。
ボリューム	ボリュームの異常が検知された場合に通知するかどうかを選択します。通知を行わない場合は、スピーカーマークをクリックし、「×」を表示させます。

- 4 設定が完了したら【登録/更新】をクリックします。

メール通知設定

サーバに障害が発生した時にメールによる通知の設定を行います。

- 1 YFS Controller Pro を呼び出します。(P50 を参照)
- 2 【サーバー管理】メニューから【障害通知】を選択します。
- 3 「ステータス」の項目で「メール」を選択します。
- 4 以下のような画面が表示されます。表を参照のうえ設定してください。

障害通知	
ステータス	<input type="radio"/> ブザー <input checked="" type="radio"/> メール
メール	<input checked="" type="radio"/> 設定する <input type="radio"/> 設定しない
メールサーバ(IPアドレスまたはホスト名)	<input type="text" value="mail.domain.co.jp"/>
発信者メールアドレス	<input type="text" value="n-raid@domain.co.jp"/>
送信先メールアドレス 1	<input type="text" value="faro@domain.co.jp"/>
送信先メールアドレス 2	<input type="text"/>
送信先メールアドレス 3	<input type="text"/>
テストメールを送信	<input type="radio"/> はい <input checked="" type="radio"/> いいえ

登録/更新

キャンセル

ステータス	通知方法を選択します。「ブザー」を選択すると画面が切り替わります。詳細については前ページを参照。
メール	メールによる通知をするかどうかを選択します。
メールサーバ	メールによる通知をするメールサーバを入力します。IPアドレスもしくはホスト名を入力します。
発信者メールアドレス	メールのヘッダに付加する発信者メールアドレスを入力します。
送信先メールアドレス1-3	通知先のメールアドレスを入力します。必要に応じ3つまで入力することが可能です。
テストメールを送信	設定時にテストメールを送る場合には「はい」を選択します。

- 5 設定が完了したら【登録/更新】をクリックします。

SNMP

SNMPエージェント機能を起動し、SNMPマネージャと組み合わせることで遠隔ネットワーク管理を行うことができます。

- 1 YFS Controller Pro を呼び出します。(P50を参照)
- 2 【サーバー管理】メニューから【SNMP】を選択します。
- 3 以下のような画面が表示されます。表を参照のうえ設定してください。

SNMP	
メール通知	<input checked="" type="radio"/> 設定する <input type="radio"/> 設定しない
認証警告	<input type="radio"/> 設定する <input checked="" type="radio"/> 設定しない
コミュニティ	<input type="text"/>
トラップコミュニティ	<input type="text"/>
トラップIPアドレス	<input type="text"/>
管理者名	<input type="text"/>
NASロケーション	<input type="text"/>

登録 / 更新

キャンセル

メール通知	SNMPエージェント機能を起動するには「設定する」を、停止するには「設定しない」を選択します。
認証警告	認証警告を有効にするには「設定する」を、無効にするには「設定しない」を選択します。
コミュニティ	コミュニティ名を入力します。
トラップコミュニティ	エージェントから送出されるトラップに付けられるコミュニティ名を入力します。
トラップIPアドレス	トラップ送出時の送信先IPアドレスを設定します。
管理者名	この装置の管理者名を入力します。SNMPではこの入力値をSNMPマネージャが取得し管理することが出来ます。
NASロケーション	この装置の設置場所を入力します。SNMPではこの入力値をSNMPマネージャが取得し管理することが出来ます。

- 4 設定が完了したら、【登録 / 更新】をクリックします。

パスワード

YFS Controller Pro にログインするパスワードを変更します。

- 1 YFS Controller Pro を呼び出します。(P50 を参照)
- 2 【サーバー管理】メニューから【パスワード】を選択します。
- 3 以下のような画面が表示されます。表を参照のうえ設定してください。

パスワード	
旧パスワード	<input type="text"/>
新パスワード	<input type="text"/>
パスワード確認	<input type="text"/>

旧パスワード	旧パスワードを入力します。
新パスワード	変更するパスワードを入力します。
パスワード確認	新パスワードで入力したものと同一パスワードを入力します。

- 4 設定が完了したら、【登録/更新】をクリックします。

設定ファイル

サーバのシステム設定をファイル化して、バックアップやリストア(復元)を行います。

保存 / 復元

- 1 YFS Controller Pro を呼び出します。(P50 を参照)
- 2 【サーバー管理】メニューから【設定ファイル】→【保存 / 復元】を選択します。
- 3 以下のような画面が表示されます。表を参照のうえ設定してください。

保存 / 復元	
バックアップ / リストア	<input checked="" type="radio"/> バックアップ <input type="radio"/> リストア
以下の設定を保存 / 復元します。全てのシステム設定、ユーザー設定、および共有設定	
ファイルの参照	<input type="text"/> <input type="button" value="参照..."/>


バックアップ / リストア	<p>サーバ設定ファイルを作成し、クライアントマシンへダウンロードするには「バックアップ」を選択します。</p> <p>すでに、クライアントマシンにダウンロードされた設定ファイルをアップロードして設定を行うには「リストア」を選択します。</p>
---------------	--

■ 設定ファイルのバックアップ

バックアップを選択して【OK】をクリックすると、サーバは設定ファイルを作成しクライアントマシンへダウンロードを要求します。

ご使用のWebブラウザによっては、以下のようにファイル転送の確認を行うものがありますが、その場合にはローカルディスクへ保存する操作を行います。

ファイルのダウンロード ✕

 ファイルによっては、コンピュータに問題を起す可能性があります。以下のファイル情報に関して疑わしい点がある場合や、発信元が完全に信用できない場合は、このファイルを開いたり保存したりしないでください。

ファイル名: N-RAID000280_config.bin
 ファイルの種類:
 発信元: 172.16.81.180

ファイルを開くか、ファイルをコンピュータに保存するか選択してください。

この種類のファイルであれば常に警告する(W)

■ 設定ファイルのリストア

「リストア」を選択して、「ファイルの参照」に、セーブされている設定ファイルのパスを入力します。【参照】ボタンをクリックするとローカルファイルをリスト参照して、目的のファイルを選択することもできます。

【OK】をクリックすると、クライアントマシンは指定された設定ファイルをサーバへアップロードします。

保存 / 復元	
バックアップ / リストア	<input type="radio"/> バックアップ <input checked="" type="radio"/> リストア
以下の設定を保存 / 復元します。全てのシステム設定、ユーザー設定、および共有設定	
ファイルの参照	<input type="text"/> <input type="button" value="参照..."/>
<input type="button" value="OK"/> <input type="button" value="キャンセル"/>	

設定ファイルの初期化

サーバーのシステム設定を初期化して工場出荷時の状態に戻します。



サーバーの全ての設定が初期化され、データも消去されます。設定ファイルの初期化を行う場合は、あらかじめデータのバックアップを実行してください。

- 1 YFS Controller Pro を呼び出します。(P50 を参照)
- 2 【サーバー管理】メニューから【設定ファイル】→【初期化】を選択します。
- 3 以下のような画面が表示されます。

初期化
確認
全ての設定およびデータを削除します。よろしいですか？続行しますか？
<input type="button" value="OK"/> <input type="button" value="キャンセル"/>

- 4 初期化してよければ【OK】をクリックします。

ファームウェア

サーバのファームウェア（サーバソフトウェア）の更新を行います。

- 1 YFS Controller Pro を呼び出します。（P50 を参照）
- 2 【サーバー管理】メニューから【ファームウェア】を選択します。
- 3 以下のような画面が表示されます。表を参照のうえ設定を行ってください。

ファームウェア	
現在使用しているファームウェアは【1.1B(2004/02/10)】です。これより新しいファームウェアを選択してください。	
ファイルの参照	<input type="text"/> <input type="button" value="参照..."/>
<input type="button" value="OK"/> <input type="button" value="キャンセル"/>	
ファイルの参照	クライアント上のファームウェアファイルの保存先を指定します。【参照】をクリックしてファイルを指定することもできます。

- 4 設定が完了したら【OK】をクリックします。
- 5 ファームウェアの更新が完了するとサーバの再起動を要求されますので、画面の指示に従って再起動を行います。

無停電電源装置 (UPS)

サーバに接続された、無停電電源装置の停電監視を設定します。



当社で推奨するUPSは以下のとおりです。

- ・APC社製 Smart-UPSシリーズ
- ・APC社製 Back-UPS ES 500

- 1 YFS Controller Pro を呼び出します。(P50を参照)
- 2 【サーバー管理】メニューから【無停電電源装置 (UPS)】を選択します。
- 3 以下のような画面が表示されます。表を参照のうえ設定してください。

無停電電源装置(UPS)	
UPS監視	<input type="radio"/> 設定する <input checked="" type="radio"/> 設定しない
『設定する』を選択した場合は、以下も設定してください。	
UPSの選択	選択してください ▼
停電後の待機時間	5 分
停電後のUPS監視	<input type="checkbox"/> 監視する <small>UPSの電池容量が5%以下または、電池での電源供給時間が6分以下になると自動的にシャットダウンします</small>
接続クライアントへの通知	<input type="checkbox"/> 通知する

登録 / 更新

キャンセル

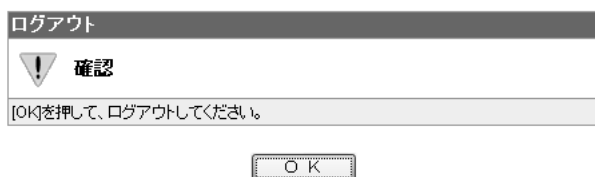
UPS監視	UPSの停電監視を行うかどうかを選択します。
UPSの選択	UPSの型番を選択します。
停電後の待機時間	UPSの停電を検出してからサーバーのシャットダウンを行うまでの時間を入力します。
停電後のUPS監視	停電後のUPS監視を行う場合にチェックを入れます。この項目が有効になっている時は、停電検出後にUPSの運転状態を監視し、電池容量が5%以下またはバッテリーでの電源供給の残り時間が5分以内になると、待機時間内であってもサーバをシャットダウンします。
接続クライアントへの通知	接続中のクライアントに、UPS異常を通知する場合にチェックを入れます。クライアントの種類や設定によっては、通知が行われないことがあります。

- 4 設定が完了したら、【登録 / 更新】をクリックします。

ログアウト

設定画面をログアウトし、YFS Controller Pro を終了します。

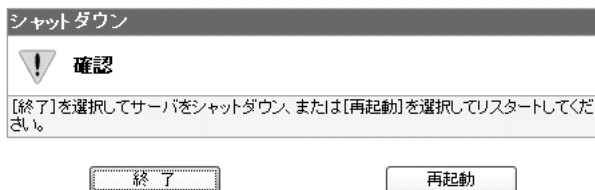
- 1 YFS Controller Pro を呼び出します。(P50 を参照)
- 2 【サーバー管理】メニューから【ログアウト】を選択します。
- 3 以下の画面が表示されます。
【OK】をクリックすると、ログアウトし Web ブラウザの画面を閉じます。



シャットダウン

サーバーのシャットダウンまたは再起動を行います。

- 1 YFS Controller Pro を呼び出します。(P50 を参照)
- 2 【サーバー管理】メニューから【シャットダウン】を選択します。



- 3 サーバーをシャットダウンする場合は【終了】を、リスタートする場合は、【再起動】をクリックします。

Chapter

4

日常の運用と障害の発生

ハードディスクドライブは長期間お使いになると劣化により、故障が発生することがあります。Chapter 4では、障害時のアラートと復旧の方法などを説明しています。本製品の使用を開始したら次ページの「1. 日常の運用について」を、お読みになることをお勧めします。

1 日常の運用について

日常および障害時のご注意

日常の運用および障害が発生した場合の本製品の取り扱いについて、以下の点にご注意ください。

本製品の電源が入った正常な状態で「電源を切る」、「ドライブホルダーを取り出す」などの操作をしないでください。正常な状態でもこれらの操作をすると、オートリビルド機能により再構築が開始されたり、最悪の場合はすべてのデータが失われることがあります。

ドライブホルダーは当社指定のもの以外は絶対に使用しないでください。また、ドライブホルダー内のドライブをお客様ご自身で交換しないでください。本製品が正常に動作しなくなります。なお、お客様ご自身でドライブを交換された場合は保証の対象外になります。

正常時および障害時のいずれの場合でも、電源を切った状態でドライブホルダーを交換しないでください。再構築が開始され、ドライブの不一致を検出できない場合はデータの内容が保証されないばかりか、正常なドライブホルダーのデータが失われる恐れがあります。

障害の発生に備えて

ハードディスクドライブは消耗品です。長期間使用していると、いずれは劣化によるエラーや故障が発生します。その時に備えて準備をしておきましょう。

障害の発生に備え、交換用ドライブホルダーを準備しておき、障害時に迅速に対応するために、あらかじめ次ページ以降の内容を一度お読みください。

読み書き時にエラーが多発するようになれば、ドライブの劣化が進行していると考えられます。障害は発生するかも知れないと考え、障害時の準備を整えておきましょう。

1台のドライブに障害が発生した場合は、同じ消耗度である他のドライブにも障害が発生するかも知れないと考え、障害時の準備を整えておきましょう。

ここでは本製品に障害が発生した場合の状態とアラートの解除方法について説明しています。以下の手順で対処してください。

■ 手順

1. アラートを解除する P88 へ
2. ドライブホルダーを交換する P89 へ
(交換用ドライブホルダーがない場合は3へ)
3. ドライブが故障している場合は修理する
..... 弊社カスタマサポートまでご連絡ください。(P96 参照)



アラートの解除を行い、障害の発生したドライブホルダーを外した状態でも動作は可能ですが、製品本来が持つデータの安全性を保つことができません。障害が発生した場合は、できるだけ速やかにドライブホルダーの交換を行ってください。

障害が発生した時の状態

本製品のドライブホルダー内のドライブに障害が発生すると、ブザーとランプ表示によって障害が発生したことを知らせます。

●ブザーによる通知

障害が発生すると、「ピーピー」と断続的にブザーが鳴ります。ブザーは障害のあるドライブホルダーを引き抜くか、YFS Controller Proでアラートを解除するまで鳴り続けます。

障害が発生したドライブホルダーを交換用ドライブホルダーに入れ替えるとすぐにリビルドが始まります。

●ランプによる表示

障害の発生したドライブホルダーの「ハードディスク電源ランプ」が赤色に点灯します。

アラートの解除方法

ブザーを停止するには、本製品の電源が入ったままの状態、YFS Controller Pro でブザーの設定をOFFにするか、障害のあるドライブホルダーを引き抜くまで鳴り続けます。

1 【サーバー管理】メニューから【障害通知】を選択します。

2 障害が起こっているディスクのスピーカーアイコンをクリックし、「×」マークを表示させます。

障害通知			
ステータス	<input checked="" type="radio"/> ブザー <input type="radio"/> メール		
ブザー	<input checked="" type="radio"/> 設定する <input type="radio"/> 設定しない		
温度	ファン	ディスク	ボリューム
CPU	CPU ファン	Disk1 Disk2 Disk3 Disk4	Volume1
登録 / 更新		キャンセル	



アラートを解除したあとも、本製品の電源は切らないでください。

アラートの解除ができれば、故障したドライブホルダーを交換用ドライブホルダーに交換します。次ページの「3. ドライブホルダーの交換と復旧作業」へ進んでください。お手元に交換用ドライブホルダーがない場合は、弊社のカスタマサポートまでご連絡ください。(P96 参照)

3

ドライブホルダーの交換と復旧作業

故障したドライブホルダーを交換用ドライブホルダーと入れ替えます。復旧作業は本製品の電源を入れたままの状態で行います。



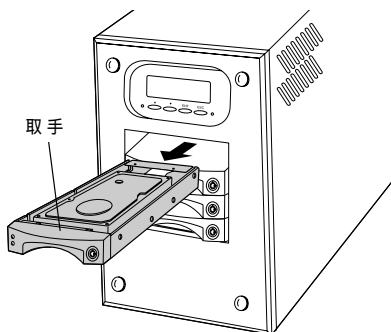
復旧には数時間かかります。復旧作業中に本製品に対し、通常と同じように読み出しや書き込みを行うことができますが、正常時よりも読み書きに時間がかかるため、できるだけ読み出しや書き込みは行わないでください。



電源が入っていない状態でドライブホルダーの交換をすると、エラーが発生します。ドライブホルダーの交換は必ず電源が入った状態で行ってください。誤って電源が入っていない状態で取り外した場合は、エラーの出たドライブホルダーを外して、再度入れるとリビルドが始まります。

1

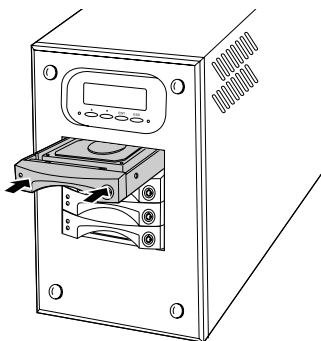
付属のキーを使って、ロックを解除してからドライブホルダーを引き出します。



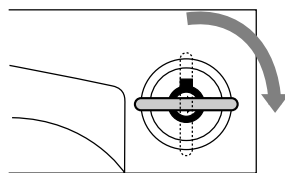
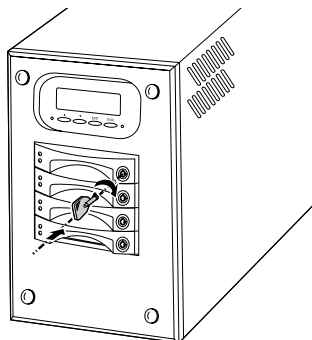
・ドライブホルダーの取手を持ってスロットから引き出します。

2

交換用ドライブホルダーをスロットに差し込みます。均等に力を入れて、奥に突き当たるまで押し込みます。



3 付属のキーを使って、ドライブホルダーをロックします。



- ・キーを差し込み、時計方向に回します。

4 オートリビルド機能により、自動的に復旧作業が始まります。復旧中は、再構築の進捗が液晶表示パネルに表示されます。再構築の進捗表示から通常時の状態になれば、再構築は完了です。



復旧作業中も通常と同じように、本製品に対して読み出しや書き込みを行うことができますが、正常時よりも読み書きに時間がかかります。そのため、動画やオーディオファイルは正常に記録/再生ができないことがあります。



復旧作業を中断したい場合

復旧作業を一時的に中断したい場合は、復旧作業中に本製品の電源を切ることで中断することができます。再び電源を入れると、中断した時点から復旧作業を再開します。また、復旧作業中に本製品の電源を誤って切ってしまった場合でも、そのまま本製品の電源を入れることで復旧作業を続けることができます。ただし、電源を切った状態で、ドライブホルダーを交換するなどの操作は絶対にしないでください。正常に復旧できないだけでなく、正常なドライブホルダーのデータも失われます。

5 再構築が終了したら、ドライブホルダーの入れ替えは完了です。



ドライブが故障している場合は、修理する必要があります。弊社のカスタマサポートまでご連絡ください。(P96 参照)

スペアディスクの再設定

ボリューム設定でスペアディスクを1台以上設定した場合、障害が発生してもスペアディスクが自動的に障害が発生したディスクの代わりとなり、復旧を行います。障害が発生したドライブホルダーは、できるだけ速やかに交換を行ってください。交換したドライブホルダーは以下の手順で、再度スペアドライブとして設定してください。

1 【システム設定】メニューから【ボリューム】を選択します。

2 以下のような画面が表示されます。

ボリュームの行をクリックして選択し、【変更】をクリックします。

ボリューム					
No.	タイプ	容量	使用量	ディスク	ステータス
Volume1	RAID 5	478632	32	1,3,4	使用中です。

選択する

3 以下のような画面が表示されます。スペアディスクに設定したいディスクのチェックボックスにチェックを入れ【登録/更新】ボタンをクリックします。

変更	
No.	Volume1
リビルド速度	高速 ▼
スペアディスク	<input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>

Chapter

5

付 録

Chapter 5では、本製品が正常に動作しない時のトラブルシューティングとカスタマサポートなどをご案内しています。必要に応じてお読みください。

正常に動作しない場合などトラブルが発生した時は、下記のことを確認してください。

❓ 本製品の電源を入れても、サーバが表示されない。

サーバの起動が完了していることを確認してください。

いつもより時間がかかる場合は、ファイルシステムのチェックをしている可能性がありますので20分程度待ってください。それでも起動しない場合は、サーバ本体が故障した可能性があります。弊社のカスタマサポートまでご連絡ください。

❓ パスワードを忘れてしまった (Macintosh/Windows)

設定したパスワードを忘れてしまって、YFS Controller Proにログインできなくなった場合、パスワードを初期化するために製品を弊社までお送り頂く必要があります。その場合には、弊社のカスタマーサポートにご連絡ください。

パスワードはくれぐれも忘れないように注意してください。

❓ ドライブホルダーのランプが赤色に点灯しエラーが発生した

ハードディスクに異常が起これると、ハードディスク電源ランプが赤色に点灯します。RAID1～5を構成しているドライブホルダーであれば、正常なドライブホルダーと交換すれば復旧させることができます。(P89参照)

また、ボリューム設定の際にスペアディスクを設定しておくこと、異常が発生した時に自動的にスペアディスクを割り当て、復旧が行われます。

異常が起きたドライブホルダーが、シングルディスクやRAID0に設定されている場合には、データを復旧させることはできません。

❓ マイネットワークに表示されない (Windows)

Windows共有のセキュリティレベルをユーザで使用している場合、サーバまたはコンピュータが起動した直後は、コンピュータの名前が参照できないことがあります。Windows ネットワークでは、ワークグループ内にLMB (ローカルマスターブラウザ) という管理サービスが動作し、コンピュータの名前のリストを受け渡ししています。ブラウザマスタから接続したコンピュータの名前を取得できるまでに、10数分必要な場合があります。この問題を回避するためにはサーバを起動したままにすることをお勧めします。また、Windows NT / 2000 / XPから接続する場合には、【スタート】メニューから【ファイル名を指定して実行...】で「¥¥192.168.0.250」のように指定することですぐに接続できます。

❓ IPアドレスを忘れてしまった (Macintosh/Windows)

IPアドレスは、本製品の液晶パネルで確認することができます。(P20参照)
また、本製品の液晶パネルでIPアドレスを変更することができます。

2 サポートとサービスのご案内

カスタマサポートのご案内

もし、トラブルが解消しなかった場合は、製品を購入された販売店、もしくは弊社までご相談ください。

弊社では、「カスタマサポート」の専用回線を設置しております。お問い合わせは、下記あてにお願いします。

当社では、ファイルサーバが故障した場合のデータ復旧サービスは行っておりません。データのバックアップは複数の方法でこまめに行うようにしてください。

カスタマサポート専用回線

Tel. (078) 993-0010 Fax. (078) 997-6408
月曜日から金曜日まで（祝祭日、特定休業日は除く）
午前 10:00～12:00 午後 1:00～5:00

カスタマサポートの専用回線が混み合っている場合は、しばらくたってからおかけ直しいただくか、下記の電話番号あてにご連絡ください。

ヤノ電器株式会社

〒651-2242 神戸市西区井吹台東町 7-3-1 Tel. (078) 993-0007

オンライン情報提供サービスのご案内

弊社では、インターネットを利用して、よりタイムリーな製品情報を提供しています。

- ・製品情報
- ・製品に関する Q&A
- ・ドライバソフトおよびソフトウェアのアップデートサービス

Web : www.yano-el.co.jp

E-mail : info@yano-el.co.jp

10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T 対応 NAS RAID 装置 N-RAID ユーザーズマニュアル

2004年4月21日 第1版発行

2004年9月17日 第2版発行

発行所

ヤノ電器株式会社
神戸市西区井吹台東町 7-3-1 (〒651-2242)

落丁乱丁本はお取り替えします。

本マニュアルに記載された製品の仕様、本マニュアルの記載内容等は予告なく変更することがあります。

Apple, Mac, Macintosh, Power Macintosh は米国アップルコンピュータ社の登録商標です。

Power Mac, iMac は米国アップルコンピュータ社の商標です。

Microsoft, Windows は米国 Microsoft 社の登録商標です。

その他、本マニュアルに記載された会社名および製品名は、各社の商標および登録商標です。



ヤノ電器株式会社
www.yano-el.co.jp